CD/MD ミニコンポーネントシステム

X-RS77
X-RS77PRO

MDLP

お客様登録のご案内

http://www3.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての**「お客様登録」**をお願いいたします。
ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報などのご案内をさせていただきます。
また、ご登録いただきますとIDが発行され、お役に立つ情報満載のお客様専用ページにアクセスすることができます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

このたびはパイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

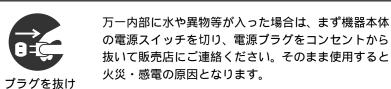
注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

警告[異常時の処理]

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本機の特長

1. 簡単で多彩な録音モードを装備

- ボタンをひとつ押すだけで、CD を MD へ 1 倍速または 2 倍速で簡単に録音できます。
  ディスク録音：CD の全曲をまるごと MD へ録音できます。（16、17 ページ）
  レンタル録音：各 CD の 1 曲目だけを MD へ録音できます。（18 ページ）
- REC THIS 録音：今聴いている曲を、ボタンをひとつ押すだけで簡単に録音できます。（18 ページ）

2. MDの長時間ステレオ録音・再生機能(MDLP)、グループ機能を搭載！

従来の音声圧縮方式である“ ATRAC ”より高い圧縮比率を持つ“ ATRAC3 ”により、録音時間 80 分の MD でも、LP2 モードで最長 160 分、LP4 モードで最長 320 分のステレオ録音・演奏 * することができます。
また、収録された曲をグループ機能を使って管理すれば、多数の曲が長時間にわたって録音された MD でも、簡単に操作することができます。（19、52 〜 57 ページ）

*** LP2 または LP4 モードで録音された曲は、MDLP 機能の搭載されていないプレーヤーでは再生できません。**

3. 高音質設計

- レガートリンクコンバーション方式の D/A コンバータ採用により、再生周波数の広帯域化を実現し、CD フォーマットの枠を越えたよりいっそう原音に近い音楽再生を可能にしています。
- 高性能パワー素子ダイレクトエナジー MOS FET を使用したディスクリートアンプにより、ワイドレンジでリアルな音を実現しました。
- MD に ARTIST（Advanced Real Time Signal Tuning）システムを搭載して、録音性能を大幅に改善し、録音ソースに忠実な高音質 MD 録音を可能にしました。

4. 3CD チェンジャーで長時間 BGM も OK!

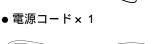
3 枚のディスクをセットすることにより、連続して演奏させたり、3 枚の中から好きなディスクを自在に選んで演奏することができます。また CD 演奏中にも、演奏していない残り 2 枚の CD ディスクを交換することができます。

5. 省エネルギー設計製品

本製品は、待機時消費電力を 0.4W に抑えた設計になっています。

6. 市販 CD のほかに CD-R ディスク、CD-RW ディスクの演奏も可能

7. CD TEXT ディスク対応

CD TEXT 情報の記録されているディスクを使用すると、本機の表示部に文字情報を表示することができます。

付属品の確認

- リモートコントロールユニット (リモコン) ×1
- FM 簡易アンテナ× 1

- 電源コード× 1

- 単 3 形乾電池× 2（AA/R6P）

- AM ループアンテナ× 1（図は組み立てた状態です。）

- スピーカーコード× 2（スピーカーに付属）

- 保証書
- ご相談窓口・修理窓口のご案内
- 取扱説明書（本書）
- 安全上のご注意

もくじ

準　備

基本編

CD を使う

MD を使う

演奏する

録音する

ラジオを聞く

応用編

CD を使う

MD を使う

演奏する

録音する

編集する

もくじ

ラジオを聞く

タイマー動作

外部機器を使う

その他

接続のしかた

- アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないと FM/AM 放送が受信できません。
- 接続を行なう場合、あるいは変更を行なう場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。
- 本機に別売のカセットデッキ(T-RS7)や外部機器を接続する場合は、69 ～ 70 ページを参照してください。

AM ループアンテナ

1

FM 簡易アンテナ

2

本機部とスピーカー部のスピーカー端子の ⊕ と ⊖ をあわせて接続してください。

被覆に白線が入っているコード (+)

3

スピーカー左(L)からのスピーカーコード

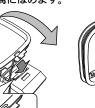
スピーカー右(R)からのスピーカーコード

被覆に白線が入っていないコード (−)

X-RS77PROの場合は、「電源極性について」(8ページ) を参照しますと、よりよい音質でご使用いただけます

電源コードは、すべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

4

デモ表示を解除するには

電源プラグをコンセントに差し込んだときなどに、表示部に自動的にいろいろな表示が行われることを、デモ表示といいます。
詳しくは、裏表紙をご覧ください。

1 電源をオフにします

2 本体のトーン（デモ）ボタンを約 3 秒間押しつづけます
デモモードを表示します。

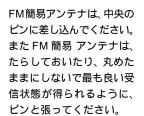
3 本体のトーン（デモ）ボタンを約 3 秒間押しつづけます
デモモードが解除されます。

1 AMループアンテナを組み立てます

① 台を外側に出します。 ② 突起部を溝にはめます。 ③ 完成

壁に取り付けるには....
ネジや押しピンなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。

2 AMループアンテナとFM簡易アンテナを接続します

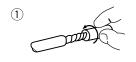
①

指で端子のつめを上側に押します。
AM ループアンテナのコード（2 本）を AM アンテナ接続端子に接続します。どちらをアース側の端子（⏚）につないでもかまいません。
コードを差し込んだら指を離します。

②

③

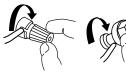
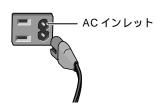
FM簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。
また FM 簡易 アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張ってください。

3 スピーカーコードをつなぎます

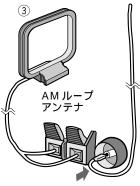
①

コードの被覆を回しながら引き抜きます。

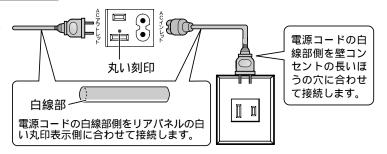
② 本体部 スピーカー部

矢印の方向へ端子を回して緩めます。

③ 本体部 スピーカー部

スピーカーコードを差し込みます。
白線のあるスピーカーコードは ⊕ 側、白線のないスピーカーコードは ⊖ 側に接続します。

④ 本体部 スピーカー部

矢印の方向へ端子を回して固定します。
本体側とスピーカー側の両方を同様に接続してください。

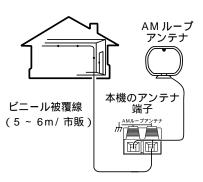
4 電源コードを本体と壁のコンセントへ差し込む

電源コードを本体の AC インレットに差し込みます。

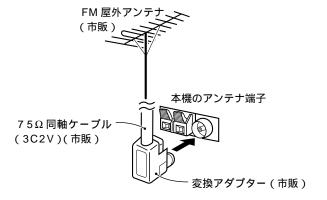
電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
はじめて電源コードをコンセントにつないだ時はデモモードになります。詳しくは裏表紙の「デモ表示について」をご覧ください。
また、X-RS77PROの場合は、「電源極性について」（8ページ）を参照しますと、よりよい音質でご使用いただけます。

電源極性について(X-RS77PROのみ)

よりよい音質でご使用いただくために､電源コードのプラグの向きを右図のように接続することをおすすめします。
ACアウトレットには､電源コードの白線部を丸い刻印側にあわせて差し込んでください。
ACインレットには電源コードの白線部を下側にあわせて差し込んでください。
(電源コードの拡大図は、説明上色を変えてあります。付属している電源コードは黒色です。)

アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM 放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

FM 簡易アンテナ：
- 付属の FM 簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属のアンテナでよく聞こえないとき

AM アンテナをつなぐ
- AM外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。
- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を接続しても AM ループアンテナは外さないでください。

FM 屋外アンテナをつなぐ
- 市販のFM屋外アンテナを接続するには､市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って､下図のように接続してください。

スピーカーのグリルの着脱

このスピーカーシステムは前面のグリルを取りはずすことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1. はずすときはグリルの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っぱってグリルの下側をはずします。
2. 同じように、グリル上側を手前に引っぱると、グリルは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリル上側および下側にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

- スピーカーを保護するため、グリルははずしたままにしないでください。

設置上の注意

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりして故障の原因となります。
- 本機を再輸送する場合は、すべてのディスクを取り出してからスタンバイ / オン･ボタンを押して電源を切り、表示部のバックライトが消灯したあと、電源コードを抜いてください。
- 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- 本機の天面、側面、後面の放熱孔は塞がないように設置してください。放熱孔が塞がると内部が異常高温になり、火災の原因になることがあります。

スピーカーが S-RS77-LR の場合

- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーシステムをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

スピーカーが S-RS77P-LR の場合

- このスピーカーシステムは低磁気漏洩ですのでテレビに近づけて使用できますが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15 ～30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーシステムをさらに離してご使用ください。

注意： 本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。

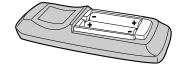
AC アウトレット（電源コンセント）について

リアパネル部にあるACアウトレットは、100Wまでの製品を接続することができます。

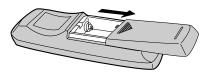
- 本機のACアウトレットには､別売カセットデッキ（T-RS7）を接続することをお勧めします。
- 本機の AC アウトレットは、スイッチ連動タイプですので、本機のオン/オフに連動して接続した機器に電源を供給します。

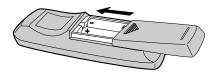
ACアウトレット
スイッチ連動　100W以下
テレビやモニターは
接続しないでください。

注意

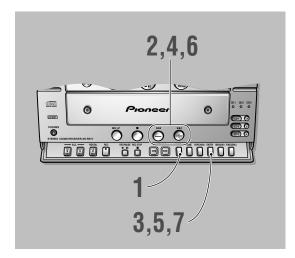
接続する機器の消費電力について

- 消費電力が100Wをこえる電気機器（トースター、ドライヤーなど）は、絶対につながないでください。機器の故障や火災の恐れがあります。
- テレビやモニターは表示されている消費電力値が許容値より少なくても､電源を入れたときに大きな電流が流れて、許容値をこえる場合がありますので、絶対に接続しないでください｡機器の故障や火災の恐れがあります。

リモコンに電池を入れる

1. 裏ブタを押しながら矢印の方向に開きます。

2. 単 3 形乾電池（AA/R6P）の ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れます。

3. 矢印の方向に押し込んで裏ブタを閉めます。

注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池の注意事項もよく見てください。）

◆ 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 長い間（1 か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。
◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

時計をあわせる

初期設定の時刻は、12 時間表示です。
時計をあわせていないと、タイマー動作（64～68 ページ参照）を行うことはできません。
また、時計表示を 24 時間表示に切りかえることもできます。（87 ページ参照）

操作例）　午後 6 時 40 分にあわせる場合

1. TIMER

タイマーボタンを押します

2.

⏮ ⏭ ボタンで "CLOCK ADJUST" を選択します

```
CD1    4   30'27"
→CLOCK ADJUST ?
```

3. ENTER

エンターボタンを押します

```
CLOCK ADJUST
        12:00am
```

4.

⏮ ⏭ ボタンで「時」を合わせます

例の場合は、"6:00pm" にします。

```
CLOCK ADJUST
         6:00pm
```

5. ENTER

エンターボタンを押します

「時」が入力されます。

```
CLOCK ADJUST
         6:00pm
```

6.

⏮ ⏭ ボタンで「分」を合わせます

例の場合は、40 にします。

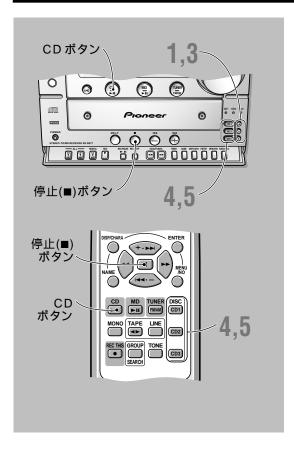
```
CLOCK ADJUST
         6:40pm
```

7. ENTER

エンターボタンを押します

「分」が入力され、時計の設定が終了しました。

```
CD1    4   30'27"
         6:40pm
```

メ モ

▼ 電源がオフ（スタンバイ状態）のときに時計表示が見にくい場合は､ディスプレイボタンを押してください。数秒間、表示部のバックライトが点灯します。
▼ 途中で中止する場合は、停止(■)ボタンを押します。

注 意

◆ 停電したり電源コードを抜くと時計表示が点滅します。この場合はもう一度時計を合わせ直してください。

CD を聞く

1. セットしたいディスク番号の CD 開閉(▲)ボタンを押します

トレイが開きます。

2. ディスクをセットします

ディスクは上図のガイドに合わせて、正しくセットしてください。

3. セットしたディスク番号の CD 開閉(▲)ボタンを押します

トレイが閉まります。
手順 1 〜 3 の操作を繰り返して、ディスクを 3 枚までセットすることができます。

4. 聞きたいディスク番号の CD 選択ボタンを押します

演奏を開始します。

5. 別のディスクを演奏する

演奏したいディスクの CD 選択ボタンを押します。

メ モ

▼ 演奏しているディスク以外のCD開閉(▲)ボタンを押すと、演奏中にディスクを交換できます。
▼ 電源がオフの時でも、セットされているディスクのCD選択ボタンを押すと、演奏を開始します。(ダイレクトパワーオン)
▼ 本機の電源を切った後に機械の動作音がすることがありますが、これは本機を輸送用の状態にするための動作音で、異常ではありません。
▼ 使用中に CD トレイが自動的に出たり入ったりすることがありますが、これは本機がメカニズムの状態を確認しているためで、異常ではありません。

注 意

◆ CDを 2 枚以上重ねて入れたり、CD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
◆ 8cmCD アダプターは使用しないでください。
◆ 本体とトレイの隙間からディスクを中に入れたり手を入れたりしないでください。
◆ 本機を再輸送する場合は、すべてのディスクを取り出してから、スタンバイ / オン･ボタンを押して電源を切り、表示部のバックライトが消灯したあと、電源コードを抜いてから輸送してください。

演奏を一時停止するには

CD ボタンを押します。
もう一度押すと、演奏を再開します。

演奏をやめるには

停止(■)ボタンを押します。

曲をスキップする

前の曲に戻るには

|◀◀ ボタンを押します。
演奏中に 1 回だけ押すと、演奏している曲の頭に戻ります。

次の曲に移るには

▶▶| ボタンを押します。

早送り・早戻しをする

演奏を聞きながら、曲の早送り・早戻しをすることができます。曲中の聞きたいところを探すのに便利な機能です。

早送りするには

演奏中に ▶▶ ボタンを押し続けます。

早戻しするには

演奏中に ◀◀ ボタンを押し続けます。

聞きたい曲を選ぶ

リモコンで操作します。

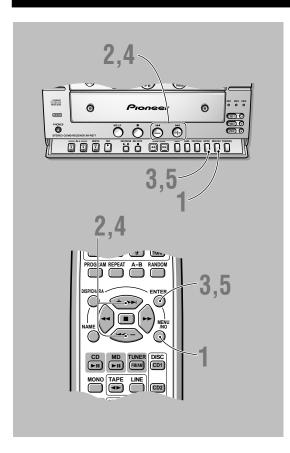
CD 選択ボタンを押して、聞きたいディスクを選びます

演奏が開始されます。

聞きたい曲の曲番号をリモコンの文字 / 数字ボタンで選びます

選んだ曲の演奏を開始します。

1 ～ 9 曲目　：番号のボタンを押します。

10 曲目　　：ﾜｦﾝ ﾞﾟｰ 10/0 を押します。

11 曲目以上：ｶﾅ小 >10 を押してから選曲する曲番号を押します。

（例）25 曲目を選曲する：

選択したCDだけ演奏するよう設定する

3枚CDチェンジャーに2枚以上のディスクがセットされているときに、次の二つの演奏モードが選べます。

- オールディスクプレイモード
  セットされているすべてのディスクの演奏を行ないます。
- シングルディスクプレイモード
  選択したディスクの演奏だけを行ないます。

1. メニュー/ノーボタンを押します

MENU/NO

2. ⏮ ⏭ ボタンで"CD PLAY MODE"にします

CD1 12 53'48"
→CD PLAY MODE ?

3. エンターボタンを押します

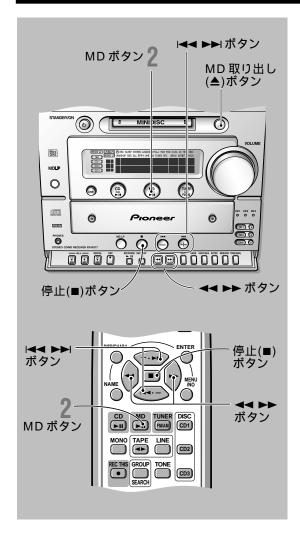
ENTER

中止する場合は、停止(■)ボタンを押します。

4. ⏮ ⏭ ボタンでオールディスクプレイモードかシングルディスクプレイモードかを選びます

- オールディスクプレイモード

→ ALL MODE ?

- シングルディスクプレイモード

→ 1DISC MODE ?

5. エンターボタンを押します

ENTER

オールディスクプレイモードを設定した場合は、"ALL"が点灯します。

注 意

◆ ランダム演奏中、またはプログラム演奏が設定されている場合は、演奏モードを選ぶことはできません。

MDを聞く

1. MDをセットします

ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。
再生専用MDや誤消去防止つまみが開いているMDを挿入すると、自動的に演奏を開始します。

2. MDボタンを押します

演奏を開始します。

演奏を一時停止するには

MDボタンを押します。
もう一度押すと、演奏を再開します。

演奏をやめるには

■

停止(■)ボタンを押します。

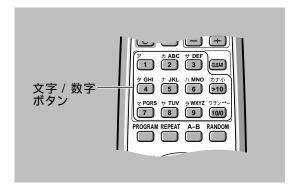
MDを取り出すには

MD取り出し(⏏)ボタンを押します。

曲をスキップする

前の曲に戻るには

⏮ボタンを押します。
演奏中に1回だけ押すと、演奏している曲の頭に戻ります。

次の曲に移るには

⏭ボタンを押します。

メ モ

▼ 電源がオフの時でも、MDが挿入されている時にMDボタンを押すと、電源が入り演奏を開始します。
(ダイレクトパワーオン)

注 意

◆ 次の場合は聞きたい曲を選ぶ操作はできませんので、
|◀◀ ▶▶| ボタンを押して曲を選んでください。
・プログラム演奏中
・ランダム演奏中
・グループプレイモードでの演奏中

早送り・早戻しをする

演奏を聞きながら、曲の早送り・早戻しをすることができます。曲中の聞きたいところを探すのに便利な機能です。

早送りするには

演奏中に ▶▶ ボタンを押し続けます。

◀◀

早戻しするには

演奏中に ◀◀ ボタンを押し続けます。

聞きたい曲を選ぶ

リモコンで操作します。

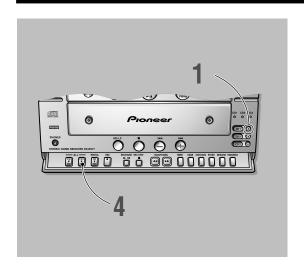
聞きたい曲の曲番号をリモコンの文字 / 数字ボタンで選びます

選んだ曲の演奏を開始します。

1 〜 9 曲目　：番号のボタンを押します。

10 曲目　　：ワヲン゛゜ー [10/0] を押します。

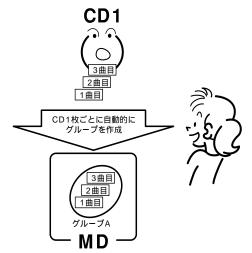
11 曲目以上：カナ小 [>10] を押してから選曲する曲番号を押します。

（例）25 曲目を選曲する ：カナ小 [>10]　カ ABC [2]　ナ JKL [5]

108 曲目を選曲する ：カナ小 [>10]　カナ小 [>10]　ア [1]　ワヲン゛゜ー [10/0]　ヤ TUV [8]

CD1 にセットしたディスクをまるごと録音する

ひとつのボタンを押すだけで、自動的にCD1にセットしたCDの全曲を録音します。
また、CDでプログラムが登録されていると、プログラムした曲だけを録音します。（25 ページ参照）

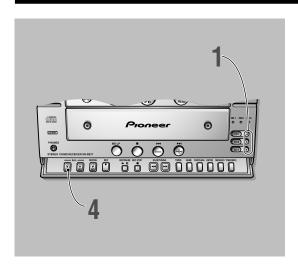
1. 録音もとのCDをCD1にセットします

CD1開閉(CD1 ⏏)ボタンを押してトレイを開けてから、ディスクをセットします。

2. 録音用 MD をセットします

3. 好きな曲だけを録音する場合は、プログラム登録します。

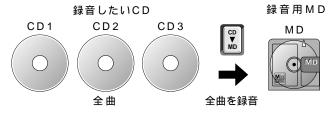
25ページの手順1～4を参照して、録音したい曲をプログラム登録しておきます。

4. CD1 ワンタッチ録音ボタンを押します

CD1
▼
MD

録音が開始されます。
録音を中止する場合は、停止(■)ボタンまたは録音停止ボタンを押します。

メ モ

- ▼ この方法で録音するときに、LP4 または LP2 モード（19 ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ 録音が終了すると、"Finished" と表示されます。
- ▼ デジタル録音（34 ページ参照）と 2 倍速録音が設定されていると、通常の半分の時間で録音できます。（35 ページ参照）
- ▼ この手順で録音すると、CD一枚ごとに自動でグループ登録（52 ページ参照）されます。

注 意

- ◆ 2 倍速で録音をしているときは、ボリュームを回してもあるレベル以上は音量は上がらなくなります。

CD1～3にセットしたディスクをまるごと録音する

ボタンをひとつ押すだけで、自動的にCD1～3にセットされているCDの全曲を録音します。
また、CDでプログラムが登録されていると、プログラムした曲だけを録音します。（25ページ参照）

1. 録音もとのCDをセットします

CD開閉(CD ▲)ボタンを押してトレイを開けてから、ディスクをセットします。

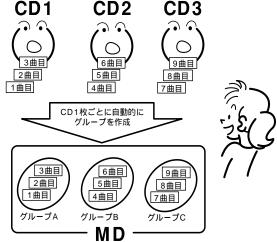
2. 録音用MDをセットします

3. 好きな曲だけを録音する場合は、プログラム登録します。

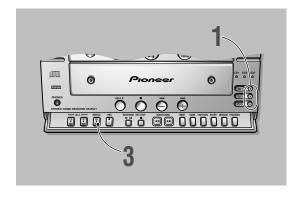
25ページの手順1～4を参照して、録音したい曲をプログラム登録しておきます。

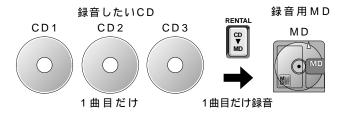
4. 全曲ワンタッチ録音ボタンを押します

録音が開始されます。選択した曲の録音が終了すると、自動的に停止します。
録音を中止する場合は、停止(■)ボタンまたは録音停止ボタンを押します。

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4またはLP2モード（19ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ 録音が終了すると、"Finished"と表示されます。
▼ デジタル録音（34ページ参照）と2倍速録音が設定されていると、通常の半分の時間で録音できます。（35ページ参照）
▼ この手順で録音すると、CD一枚ごとに自動でグループ登録（52ページ参照）されます。

▼ CD1～3でCDの入っていないトレイがある場合は、CDの入っているトレイだけ録音されます。

注 意

◆ 2倍速で録音をしているときは、ボリュームを回してもあるレベル以上は音量は上がらなくなります。

4枚以上のCDを一度に録音するには

録音の終了したCDから順次に、新しいCDに入れかえていくことで、録音が継続されます。
ただし、プログラム登録して録音する場合は録音中にCDの入れかえはできません。

CDの1曲目だけをつぎつぎと録音する

ボタンをひとつ押すだけで、自動的にCD1～3の1曲目だけを録音します。シングルCDの録音に便利な機能です。(レンタル録音)

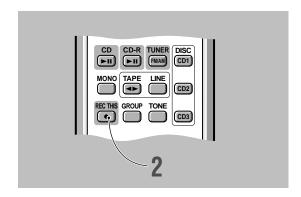
1. 録音もとのCDをセットします

CD開閉(CD ⏏)ボタンを押してトレイを開けてから、ディスクをセットします。

2. 録音用MDをセットします

3. レンタルワンタッチ録音ボタンを押します

ディスク番号の1から順に録音が開始されます。トレイにセットされているすべてのディスクの録音が終了すると、自動的に停止します。
録音を中止する場合は、停止(■)ボタンまたは録音停止ボタンを押します。

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4またはLP2モード(19ページ参照)に設定すると、より長時間録音できます。
▼ デジタル録音(34ページ参照)と2倍速録音が設定されていると、通常の半分の時間で録音できます。(35ページ参照)

4枚以上のCDを一度に録音するには

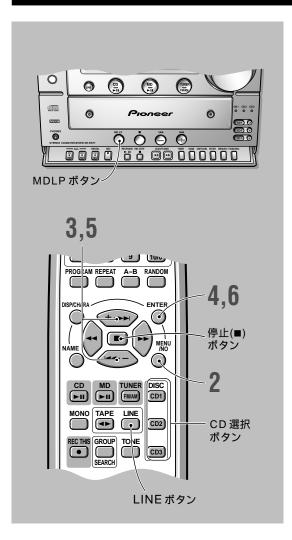
録音の終了したCDから順次に、新しいCDに入れかえていくことで、録音が継続されます。

いま聞いている曲を録音する(REC THIS録音)

CDチェンジャー部で演奏中の曲を簡単に録音できます。

リモコンで操作します。

1. 録音用MDをセットします

2. 録音したいCDの曲の演奏中に、REC THISボタンを押します

曲のはじめから録音を開始し、録音が終了するとMDは停止します。CDは、そのまま演奏を続けます。
途中で録音を停止する場合は、停止(■)ボタンまたは録音停止ボタンを押します。

注 意

◆ 2倍速録音に設定していても、2倍速録音にはなりません。

長時間録音（MDLP）の設定をする　MDLP

MD に録音する設定を、通常のステレオ録音の約 2 倍（LP2 モード）または 4 倍（LP4 モード）にすると、長時間ステレオ録音ができます（MDLP 録音）。数枚の CD を一枚の MD に録音するときに便利です。
例えば、80分のMDではLP2モードで160分、LP4モードで320分の長時間録音ができます。
ただし、LP2 または LP4 モードで録音された曲は、MDLP 機能が搭載されていない機器では再生できません。
各録音モードの違いは以下の表のとおりです。

録音モード	ステレオ/モノラル	録音時間	音質
STEREO	ステレオ(通常のステレオ録音)	1倍	◎
MONO	モノラル	2倍	◎
LP2	ステレオ(MDLP)	2倍	○
LP4	ステレオ(MDLP)	4倍	△

◎ .... 最良の音質です
○ .... ◎ の音質より劣ります
△ .... ○ の音質より劣ります

本体で設定する

MDLP ボタンを押します

押すごとに録音モードが以下のように切りかわります。

→(通常のステレオ録音)→LP2(ステレオ/MDLP)→LP4(ステレオ/MDLP)→MONO LP(モノラル)→

メ モ

▼ 長時間録音の設定は、一度設定すると次に切り換えるまで変更されません。

注 意

◆ LP2 または LP4 モードで録音された曲は、MDLP 機能が搭載されていない機器では再生できません。

リモコンで設定する

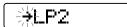
1. 録音設定したい録音もとの入力を選びます

CD での設定の場合は、CD 選択ボタンを押してから停止(■)ボタンを押します。
LINE1入力での設定の場合は、LINEボタンを押して、LINE1 を選択します。

2. メニュー / ノーボタンを押します

MENU /NO

3. ⏮ ⏭ ボタンで "MD REC MODE" を選択します

CD1 12 53'48"
→MD REC MODE ?

4. エンターボタンを押します

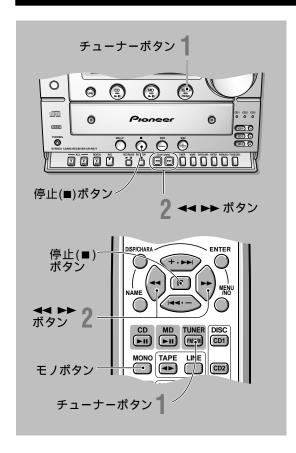
ENTER

中止する場合は、停止(■)ボタンかメニュー / ノーボタンを押します。

5. ⏮ ⏭ ボタンで録音のモードを選びます

LP2 モードを選んだときの表示

6. エンターボタンを押します

ENTER

LP2 モードに設定した場合は、"LP2" と点灯します。
LP4 モードに設定した場合は、"LP4" と点灯します。
モノラル録音に設定した場合は、"MONO LP"と点灯します。
録音モード設定後、録音してください。

FM/AM 放送を聞く

アンテナが接続されていないと、FM/AM放送を聞くことはできません。6 〜 8 ページを参照して、アンテナを接続してください。

1. チューナーボタンを押します

ラジオが聞ける状態になります。

FM 76.00 MHz

押すごとに、FM と AM が切りかわります。
FM 放送を聞くときは FM を、AM 放送を聞くときは AM を選択してください。

2. ◀◀ ▶▶ ボタンで聞きたい放送局に周波数を合わせます

周波数の合わせ方（チューニング）のしかたには、以下の 3 種類があります。

オートチューニング

◀◀ ▶▶ ボタンを押して、周波数が動きはじめたら指を離します

周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると止まり、表示部に **TUNED** が点灯します。FM ステレオ放送のときは**STEREO**も一緒に点灯します。
途中で止めるときは、もう一度◀◀ ▶▶ボタンを押すか、停止(■)ボタンを押します。

マニュアルチューニング

◀◀ ▶▶ ボタンを1回ずつ押します

周波数が 1 ステップずつ変化します。
1 ステップは、FM 放送が 0.05MHz、AM 放送が 9kHz です。

ハイスピードマニュアルチューニング

◀◀ ▶▶ ボタンを押し続けます

ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

メ モ

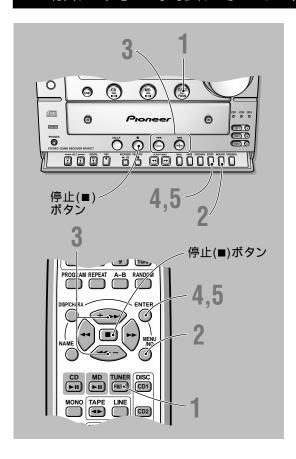
▼ 電源がオフの時でも、チューナーボタンを押すと電源が入り、ラジオ放送を聞くことができます。（ダイレクトパワーオン）
▼ 本機はテレビ放送の 1 〜 3 チャンネルの音声を受信できます。
各チャンネルの周波数は次のとおりです。
1ch： 95.75MHz
2ch： 101.75MHz
3ch： 107.75MHz
音声はモノラルになります。2ヶ国語放送は主音声のみとなります。
▼ 1 ステップの周波数は切り換えることができます。詳しくは 94 ページを参照してください。

注 意

◆ FM 放送の 90MHz 〜 108MHz はテレビ信号が影響して、正しくオートチューニングできないことがあります。この場合はマニュアルチューニングで周波数を合わせてください。
◆ 本機の FM 放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時に FM 放送が混信することがあります。
◆ ステレオ受信の場合でも、モノラル放送の場合は、**STEREO** は点灯しません。

FM 放送に雑音が多いとき

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FMのステレオ放送に雑音が多いときは、モノラル演奏にして放送を聞きやすくします。

リモコンで操作します。

リモコンのモノボタンを押します

押すごとに、以下の様に切りかわります。

ステレオ受信（STEREO点灯） ←→ **モノラル受信**（MONO点灯）

放送局を自動的に選局して記憶させる

受信できるFM/AM放送を自動的に受信しながら、30局までステーション（記憶番号）に記憶させていきます。

1. チューナーボタンを押します

TUNER FM/AM

ラジオが聞ける状態にします。

2. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

メニューが表示されます。

3. ⏮ ⏭ ボタンで "AUTO PRESET" を選びます

```
FM   76.00 MHz
→AUTO PRESET  ?
```

4. エンターボタンを押します

ENTER

FM/AM 放送の受信を開始します。
ステーション 1 から順に記憶させます。
放送局を受信すると、記憶させるかどうかの確認表示になります。

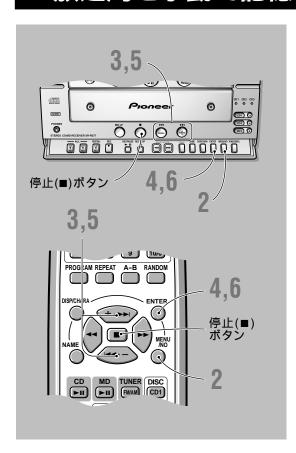
```
FM   82.50 MHz
 AUTO OK? ST- 1
```

5. 記憶させる場合は、エンターボタンを押します

ENTER

記憶させない場合はメニュー / ノー(MENU/NO)ボタンを押すと、次の放送局の受信を開始します。

注 意

- ◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。
- ◆ 停電や電源プラグを抜いた状態で 12 時間以上放置した場合、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。
- ◆ ステーションに自動で放送局を記憶させる場合、FMの受信範囲は 76MHz から 90MHz の範囲内だけです。

途中で終了するには

停止(■)ボタンを押します。
30局まで記憶した場合や周波数が一巡した場合は、自動的に終了します。

放送局を手動で記憶させる

FM/AM 放送あわせて 30 局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。

例） FM 82.5MHz をステーション 3 へ記憶させます

1. 記憶したい放送局を受信します

20 ページを参照して受信します。
例の場合は、FM 82.5MHz を受信します。

2. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

メニューが表示されます。

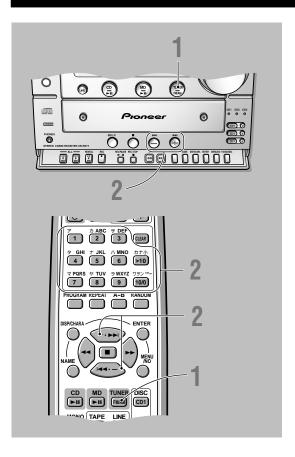
3. ⏮ ⏭ ボタンで "STATION MEMORY" を選びます

FM 82.50 MHz
→ST. MEMORY ?

4. エンターボタンを押します

ENTER

5. ⏮ ⏭ ボタンで記憶するステーションを選びます

記憶するためのステーションは 1 ～ 30 まであります。
例の場合は、ステーション 3 を選びます。

FM 82.50 MHz
ST- 3

6. エンターボタンを押して記憶させます

ENTER

FM 82.5MHz がステーション 3 に記憶されました。

途中で終了するには

停止(■)ボタンを押します。

記憶させた放送局を呼び出す

21～22ページで、各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。

1. チューナーボタンを押します

TUNER FM/AM

ラジオが聞ける状態にします。

2. ⏮ ⏭ ボタンで記憶したステーションを選びます

FM 82.50 MHz
ST- 3

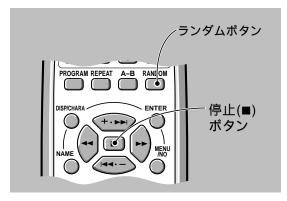
リモコンの文字 / 数字ボタンでも選ぶことができます

ステーション番号と同じ数字ボタンを押すと、ダイレクトにステーションを選ぶことができます。

1～9　：番号のボタンを押します。

10　：ﾜｦﾝﾞﾟｰ 10/0 を押します。

11～30 ：ｶﾅ小 >10 を押してから番号を選びます。

（例）　25 ： ｶﾅ小 >10　ｶ ABC 2　ﾅ JKL 5

メ モ

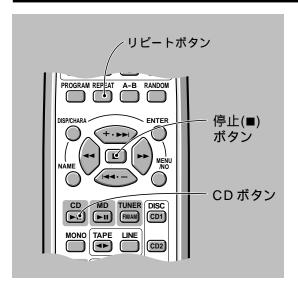
▼ 記憶した放送局に名前がついている場合は、名前が表示されます。（62ページ参照）受信周波数を確認したいときは、ディスプレイボタンを押すと、選ばれているステーションの周波数を約3秒間表示します。

順不同に演奏する（ランダム演奏）

曲を無作為に選んで 1 回ずつ演奏します。

リモコンで操作します。

RANDOM

ランダムボタンを押します

ランダム演奏を開始します。
RDM と点灯します。

ランダム演奏をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。
演奏が停止して、ランダム演奏は解除されます。

メ モ

- ▼ ランダム演奏中に ▶▶| ボタンまたはランダムボタンを押すと、演奏中の曲を中止して、別の曲を選んで演奏します。
- ▼ ランダム演奏中に全曲リピート演奏を選択すると、ランダム演奏を繰り返し演奏します。**（ランダムリピート演奏）**

繰り返し演奏する（リピート演奏）

演奏している 1 曲だけを繰り返す 1 曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートがあります。

リモコンで操作します。

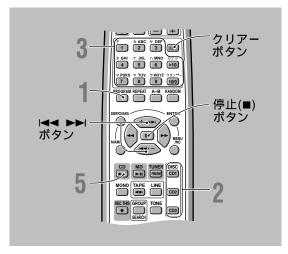
REPEAT

リピートボタンを押します

押すごとに、以下の様に切りかわります。

CD

停止中に設定した場合は、CDボタンを押します

リピート演奏を開始します。

リピート演奏をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。
演奏が停止します。

メ モ

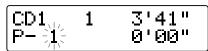
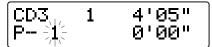
- ▼ 1 曲リピート中に |◀◀ ▶▶| ボタンを操作して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し演奏します。
- ▼ 演奏停止しても、リピート演奏の設定は保持されます。

聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム演奏）

聞きたい曲を最大 32 曲まで、好きな順番に登録することができます。

リモコンで操作します。

例　CD ディスク番号 3 の 6 曲目、CD ディスク番号 2 の 3 曲目の曲順で演奏する場合

1. CDの停止中に、プログラムボタンを押します

2. 聞きたい曲のディスク番号の CD 選択ボタンを押します

例の場合は、CD 選択ボタンの 3 を押します。

3. 文字 / 数字ボタンで聞きたい曲の番号を登録します

例の場合は、数字ボタンの 6 を押します。

4. 手順 2 と 3 を繰り返し、聞きたい曲のディスク番号と曲番号を登録します

例の場合は、CD 選択ボタンの 2 を押してから、数字ボタンで 3 曲目を選びます。

プログラム総演奏時間

5. CD ボタンを押します

プログラムした順に演奏を開始します。

曲番を間違えたとき

CD の停止中にクリアーボタンを押します

押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容を確認する

プログラム演奏中に停止(■)ボタンを押して演奏を停止させてから、⏮ または ⏭ ボタンを押します。

プログラム登録した内容をすべて消す

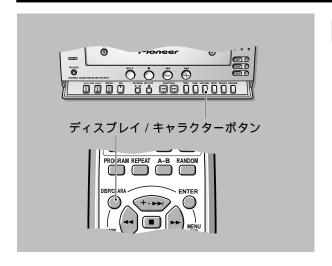
次のいずれかの操作をしたときに消去されます

- CD 停止中に停止(■)ボタンを押したとき
- CD 開閉(⏏)ボタンを押して、トレイを開けたとき
- 電源を切ったとき

メ モ

▼ プログラム演奏中に、⏮ ⏭ ボタンを押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。

▼ プログラム演奏中に全曲リピートを設定すると、プログラムした内容を繰り返し演奏します。
（プログラムリピート演奏）

注 意

◆ プログラムのトータル時間が、99'59"以上の場合や、曲番が31曲目以上の曲をプログラムした場合は、プログラムのトータル時間は表示されません。

◆ プログラム演奏中にランダムボタンを押すと、プログラム登録した内容は解除されます。

CDの表示について

DISP/CHARA

ディスプレイ/キャラクターボタンを押します

押すごとに、表示内容が切りかわります。

停止中の表示

ディスク番号 (CD3)/ 全曲数 (15)/ 総演奏時間 (61'27")/ディスクネーム * (HIT SONGS)

```
CD3  15  61'27"
HIT SONGS
```

ディスク番号 (CD3)/ 全曲数 (15)/ 総演奏時間 (61'27")/アーティストネーム * (TOKYO CLUB)

```
CD3  15  61'27"
TOKYO CLUB
```

ディスク番号 (CD3)/ 全曲数 (15)/ 総演奏時間 (61'27")/時計表示 (5:43 pm)

```
CD3  15  61'27"
          5:43pm
```

停止中に、⏮ ⏭ ボタンを押すと、以下の表示になります

⏮ ⏭ボタンを押すごとに前の曲または後ろの曲が表示されます。
ディスク番号 (CD3)/選んだ曲の曲番号 (12)/演奏時間 (3'01")/トラックネーム表示 * (例：TOMORROW)

```
CD3  12   3'01"
TOMORROW
```

ディスク番号 (CD3)/選んだ曲の曲番号 (12)/演奏時間 (3'01")/時計表示 (6:40 pm)

```
CD3  12   3'01"
          6:40pm
```

演奏中の表示

ディスク番号 (CD1)/演奏曲の番号 (1)/演奏経過時間 (3'41")/トラックネーム * (TOMORROW)

```
CD1   1   3'41"
TOMORROW
```

ディスク番号 (CD1)/ 演奏曲の番号 (1)/ 曲の残り時間 **(1'05")

```
CD1   1   1'05"
         REMAIN
```

ディスク番号 (CD1)/ディスク演奏終了までの残り時間***(38'25")

```
CD1  ALL 38'25"
         REMAIN
```

ディスク番号 (CD1)/演奏曲の番号 (1)/演奏経過時間 (3'41")/時計表示 (6:40 pm)

```
CD1   1   3'41"
         6:40pm
```

プログラム演奏中の表示

ディスク番号 (CD3)/演奏曲の番号 (15)/演奏経過時間 (1'27")/演奏曲のトラックネーム * (YESTERDAY)

```
CD3  15   1'27"
YESTERDAY
```

ディスク番号 (CD3)/演奏曲の番号 (15)/曲の残り時間** (2'07")/演奏曲のプログラム登録番号 (P-1)

```
CD3  15   2'07"
P- 1     REMAIN
```

ディスク番号 (CD3)/プログラム演奏終了までの残り時間** (37'18")/演奏曲のプログラム登録番号 (P-1)

```
CD3  ALL 37'18"
P- 1     REMAIN
```

ディスク番号 (CD3)/演奏曲の番号 (15)/演奏経過時間 (1'27")/演奏曲のプログラム登録番号 (P-1)

```
CD3  15   1'27"
P- 1
```

メ モ

***　ディスクネーム / アーティストネーム / トラックネームは、CD TEXT が入力されているディスクだけです。**
* *　31 曲目以降については表示することはできません。
* * *　ランダム演奏中は表示しません。

CDの取り扱いかた

注意

右記マークの付いたディスクをお使いください。
それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。
ただし本機では、演奏だけの機能となります。

CD-Rディスク/CD-RWディスクの再生について

本機は、音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-Rディスク/CD-RWディスクを再生することができます。
ただし、録音したレコーダーの記録特性やディスクの特性・傷・汚れ、またはプレーヤのピックアップのレンズ汚れ・結露等により再生できない場合があります。

CDテキスト(CD TEXT)

CDテキストとは、CDのディスクネーム、アーティストネーム、トラックネームなどの文字情報（アルファベット、記号、数字）のことです。市販のCDでこれらの文字情報が記録されているものには下記のマークが付いています。

または

CD TEXTで表示できる文字数は以下のとおりです。

- ディスクネーム 72文字
- アーティストネーム 58文字
- トラックネーム
  収録曲数が30曲以内の場合
  .... 収録曲数によって変化します
  収録曲数が31曲以上の場合
  .... 1～30曲目のときは15文字、31曲目以降のときは表示されません

CD TEXTで表示できる文字の種類は以下のとおりです。

アルファベット（大文字）：
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

アルファベット（小文字）：
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

数字、記号：
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! ” # ＄ % & ’ ( ) ＊ + , ー . / :
; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { | } ˜ □（空白）

ディスクの持ちかた

信号面（虹色に光っている側）にふれないでください。

保管

◆ 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
◆ ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

◆ 汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。
◆ 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
◆ 柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください。
円周に沿って拭かないでください。

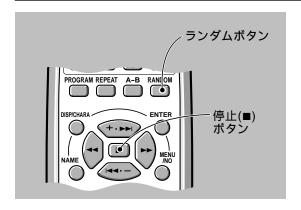
◆ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

注意

特殊な形状のCDは使用しないでください。
ハートの形など、円形以外の形状のCDは使用しないでください。使用すると故障の原因になります。

損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。
のりなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。
特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してからご使用ください。

ビデオCD

または

は再生できません。
ビデオCDとは、MPEG方式で最大74分のデジタル画像／音声が記録されているディスクです。

順不同に演奏する（ランダム演奏）

曲を無作為に選んで 1 回ずつ演奏します。

リモコンで操作します。

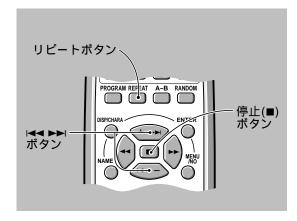
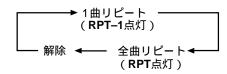
ランダムボタンを押します

ランダム演奏を開始します。
RDM と点灯します。

ランダム演奏をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。
演奏が停止して、ランダム演奏は解除されます。

メ モ

▼ ランダム演奏中に ▶▶| ボタンまたはランダムボタンを押すと、演奏中の曲を中止して、別の曲を選んで演奏します。
▼ ランダム演奏中に全曲リピート演奏を選択すると、ランダム演奏を繰り返し演奏します。**（ランダムリピート演奏）**

繰り返し演奏する（リピート演奏）

1 曲または全曲を繰り返し演奏する

演奏している 1 曲だけを繰り返す 1 曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートとがあります。

リモコンで操作します。

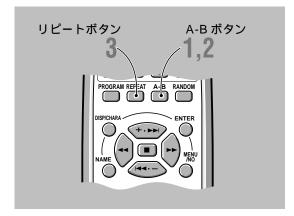
リピートボタンを押します

押すごとに、以下の様に切り替わります。

リピート演奏をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。
演奏が停止します。

メ モ

▼ 1 曲リピート中に |◀◀ ▶▶| ボタンを操作して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し演奏します。
▼ 演奏停止しても、リピート演奏の設定は保持されます。

注 意

◆ 次の場合は A-B リピート演奏はできません。
・プログラム演奏が設定されているとき
・ランダム演奏が設定されているとき
・グループプレイモードが設定されているとき

指定した 2 点間を繰り返し演奏する(A-B リピート)

MD を聞きながら指定した 2 点間を、繰り返し演奏することができます。

リモコンで操作します。

1. 繰り返し聞きたい曲の開始点で、A-B ボタンを押します

A-B

演奏を聞きながら設定します。"A" と点灯します。

2. 繰り返し聞きたい曲の終止点で、A-B ボタンを押します

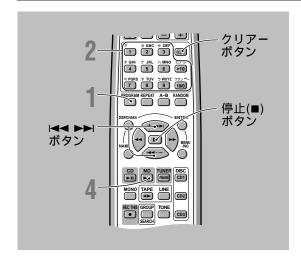
A-B

演奏を聞きながら設定します。"A － B" と点灯します。

3. リピートボタンを押します

REPEAT

指定した 2 点間を繰り返し演奏します。

リピート演奏をやめるには....

REPEAT

もう一度、リピートボタンを押します。その曲のはじめに戻って演奏を開始し、2 点間の設定を解除します。

聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム演奏）

聞きたい曲を最大 24 曲まで、好きな順番に登録することができます。リモコンで操作します。

1. MDの停止中に、プログラムボタンを押します

PROGRAM

2. 数字ボタンで聞きたい曲の番号を登録します

6 曲目を選んだときの例

MD 6 4'01"
P-- 2 4'01"

プログラム総演奏時間

3. 手順2を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録します

4. MD ボタンを押します

MD

プログラムした順に演奏を開始します。

曲番を間違えたとき

MD の停止中にクリアーボタンを押します

押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容を確認する

プログラム演奏中に停止(■)ボタンを押して演奏を停止させてから、|◀◀ または ▶▶| ボタンを押します。

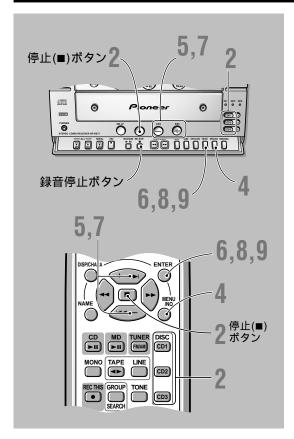
プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます

- MD 停止中に停止(■)ボタンを押したとき
- MD 取り出し(▲)ボタンを押して、MD を取り出したとき
- 電源を切ったとき

メ モ

▼ プログラム演奏中に、|◀◀ ▶▶| ボタンを押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。
▼ プログラム演奏中に全曲リピート演奏を選択すると、プログラムした内容を繰り返し演奏します。
（プログラムリピート演奏）

注 意

◆ プログラムのトータル時間が、999'59" 以上の場合は、プログラムのトータル時間は表示されません。
◆ グループプレイモード(57 ページ参照）ではプログラム演奏はできません。
◆ プログラム演奏中にランダムボタンを押すと、プログラム登録した内容は解除されます。

メニュー機能を使ってCDからMDに自動録音する

録音のメニュー機能を使って、MDへ簡単に自動録音をすることができます。

1. 録音用MDをセットします

2. 録音もとのCDをセットします

録音したい枚数分のCDをセットし、CD選択ボタンを押してから停止(■)ボタンを押します。

3. 好きな曲だけを録音する場合は、プログラム登録します

25ページの手順1〜4を参照して、録音したい曲をプログラム登録しておきます。

4. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

5. ⏮ ⏭ボタンで"REC MENU"を選びます

6. エンターボタンを押します

ENTER

手順3でプログラムの設定がしてある場合は、そのまま手順8に進みます。

7. ⏮ ⏭ ボタンで録音したいCDを選びます

CD1、CD2、CD3、CD ALLを選んで録音すると自動的にグループ登録（52ページ）されます。

CD1	CD1を録音します
CD2	CD2を録音します
CD3	CD3を録音します
CD ALL	3枚のCDをすべて録音します
RENTAL	CD1〜3にセットされているCDの1曲目だけを録音します

CD1を選んだときの表示

REC MENU
CD1 ←SOURCE ?

8. エンターボタンを押します

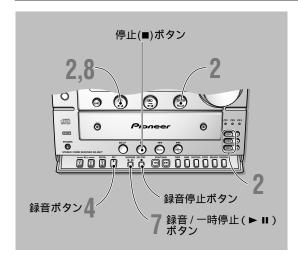
ENTER

REC MENU
CD1 → MD ?

9. エンターボタンを押します

ENTER

録音が開始されます。

メモ

- ▼ この方法で録音するときに、LP4またはLP2モード（19ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ 録音が終了したりMDの録音可能時間が終了すると、"Finished"と表示されます。
- ▼ 録音を途中で止めたいときは、録音停止ボタンか停止(■)ボタンを押します。
- ▼ 手順7でRENTALまたはCD ALLに設定すると、4枚以上のCDを一度に録音することができます。この場合は、録音の終了したCDから順次、新しいCDに入れかえていくことで、録音が継続されます。
- ▼ 2倍速録音が設定されていると、通常の半分の時間で録音することができます。（35ページ参照）

CD やラジオ放送をマニュアル録音する

MDにマニュアル操作で、CDやラジオ放送を録音します。ただしこの録音では、2 倍速録音はできません。

1. 録音用 MD をセットします

2. CD から録音する場合

セットしたCDのCD選択ボタンを押してから、CDボタンを押し、一時停止にします。

FM/AM 放送から録音する場合

チューナーボタンを押してから、録音したい放送局を受信します。

3. アナログ録音かデジタル録音か入力を切りかえます

34 ページを参照して、CD または LINE1 の入力をアナログ入力かデジタル入力かに設定します。FM/AM 放送や LINE2 から録音する場合は、自動的にアナログ録音になります。
デジタル録音された CD-R や CD-RW から録音する場合は、アナログで録音します。（34 ページ参照）

4. 録音ボタンを押します

"REC"が点滅し、録音一時停止になります。

5. CDを録音する場合は、録音したい曲の先頭で一時停止させておきます

6. 録音レベルを調整します

録音レベルを調整するときは36ページを参照して、録音レベルを調整します。

7. 録音 / 一時停止（► ıı）ボタンを押します

REC PAUSE ► ıı

録音を開始します。
"REC" が点灯にかわります。

8. CDを録音する場合は、CD ボタンを押して CD の演奏を開始します

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4 または LP2 モード（19 ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ 演奏を途中で止めたいときは、停止(■)ボタンを押します。
▼ 録音を途中で止めたいときは、録音停止ボタンを押します。
▼ 録音を一時停止したいときは、録音 / 一時停止（► ıı）ボタンを押します。

手動で曲番号をつける

録音中に曲番号を更新したい場所で、録音ボタンを押します

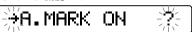
曲番号の設定をする

CD または MD 以外のデジタル録音や FM/AM 放送以外のアナログ録音において、録音中に 1.5 秒以上の無音部分があると、自動的に曲番号をつける機能をオートマーク機能といいます。
オートマーク機能をオフにして、曲番号をつけないで、1回の録音を1つの曲番号で一続きの曲として録音することもできます。（オートマーク機能のオフ）

1. MENU/NO

メニュー / ノーボタンを押します

CD のアナログ入力（34 ページ参照）、または LINE1、LINE2のそれぞれについて設定することができます。

2.

⏮ ⏭ボタンで"MD AUTO MARK"を選択します

LINE1/CD-R
→MD AUTO MARK ?

3. ENTER

エンターボタンを押します

中止する場合は、停止(■)ボタンかメニュー / ノーボタンを押します。

4.

⏮ ⏭ ボタンで、オートマーク機能のオンかオフかを選びます

- オートマーク機能のオン

- オートマーク機能のオフ

→A.MARK OFF ?

5. ENTER

エンターボタンを押します

オートマーク機能をオンにすると、"A.MARK" が点灯します。

メ モ

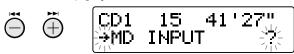
▼ CDまたはMDのデジタル入力では、オートマークのオン / オフに関係なく演奏側の CD や MD と同じ場所に同じ曲番号が付きます。
▼ FM/AM 放送では、オートマーク機能は常にオフになります。
▼ シンクロ録音では、オートマーク機能は常にオンになります。

手動で曲番号をつける

REC

録音中に曲番号を更新したい場所で、録音ボタンを押します

アナログ録音とデジタル録音を切りかえる

CDやLINE1からMDへ録音する場合、デジタル入力録音とアナログ入力録音とを切りかえることができます。
例えば、CD-Rからの録音で"CAN'T COPY"と表示が出て録音できない場合は、アナログ入力に切りかえてから録音します。
初期状態は、CDではデジタル入力、LINE1ではアナログ入力になっています。

1. 録音設定したい録音もとの入力を選びます

CDでの設定の場合は、CD選択ボタンを押してから停止(■)ボタンを押します。
LINE1 入力での設定の場合は、LINE ボタンを押して、LINE1 を選択します。

2. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

3. |◀◀ ▶▶|ボタンで"MD INPUT"を選択します

4. エンターボタンを押します

ENTER

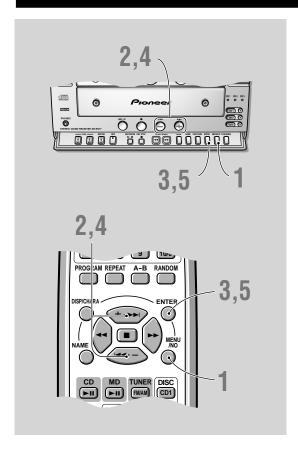
中止する場合は、停止(■)ボタンかメニュー / ノーボタンを押します。

5. |◀◀ ▶▶|ボタンで、デジタルかアナログかを選びます

- デジタル入力による録音

→DIGITAL ?

- アナログ入力による録音

→ANALOG ?

6. エンターボタンを押します

ENTER

アナログ入力録音を設定すると、表示部から"DIG"が消灯します。

メ モ

▼ 録音入力の設定は、CD、LINE1入力のそれぞれで設定することができます。

2 倍速録音の設定をする

2倍速録音を設定すると、CDを通常の半分の時間で録音することができます。
ただし2倍速録音は、本体でのワンタッチ録音ボタン（16〜18ページ参照）またはメニュー機能を使った自動録音（31ページ参照）でしか行えません。
リモコンを使った REC THIS 録音（18 ページ参照）または CD のアナログ録音（34 ページ参照）を選択していると、2 倍速録音を設定していても 2 倍速録音にはなりませんので注意してください。

1. CDの停止中に、メニュー/ノーボタンを押します

MENU/NO

2. ⏮ ⏭ ボタンで"MD REC SPEED"にします

```
CD1   15   41'27"
→MD REC SPEED ?
```

3. エンターボタンを押します

ENTER

中止する場合は、停止(■)ボタンかメニュー / ノーボタンを押します。

4. ⏮ ⏭ ボタンで 2 倍速録音か通常録音かを選びます

- 2 倍速録音

```
→x2          ?
```

- 通常録音

```
→NORMAL      ?
```

5. エンターボタンを押します

ENTER

2 倍速録音を設定した場合は、"x2" が点灯します。

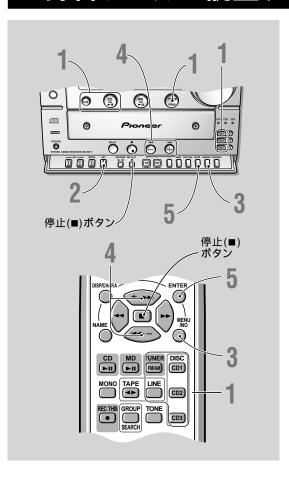
注 意

プログラムでの 2 倍速録音の場合

◆ 本機は、HCMS によりディスクを管理しています。
ですから CD をプログラム登録（25 ページ参照）してから 2 倍速録音する場合は、CD1 の録音したい曲を登録➡CD2 の録音したい曲を登録➡CD3 の録音したい曲を登録というように、ディスクごとに曲をプログラム登録してください。
例えば、CD1 の 2 曲目➡CD2 の 5 曲目➡CD1 の 3 曲目とプログラム登録をすると、CD1 の 3 曲目の録音開始時点で録音を中止してしまいます。

◆ あるディスクが2倍速録音の禁止時間内であっても、異なるディスクであれば合計20枚まで、2倍速録音を行うことができます。

2 倍速録音での制限について

CD から MD へ 2 倍速録音を行った場合、録音を開始した時点から 74 分間は、同じ CD を 2 倍速で録音できないようになっています。これは、HCMS(Hi-speed Copy Management System)により管理されているためです。この間に禁止されているディスクを録音する場合は、通常の録音を行ってください。

HCMSにより管理されている74分の間に同じディスクを再び2倍速録音すると、以下の例のように禁止残り時間を表示します。禁止残り時間の間は、禁止されているディスクの 2 倍速録音は動作しません。

```
CAN'T x2 COPY
   WAIT 39min
```

録音レベルを調整する

CDやチューナー、LINE入力からMDへ録音する場合、デジタルやアナログの録音レベルを調整することができます。
例えば、衛星放送をデジタル録音する場合、市販のCDよりも音量レベルが低い傾向にあるので調整します。また、音量レベルが小さいMDやCDなどから録音するときにも調整します。録音レベルは、録音一時停止中または録音中に操作します。

1. 録音レベルを調整したい録音もとの入力を選びます

CDでの設定の場合は、CD選択ボタンを押して演奏したい曲を演奏させます。
チューナーでの設定の場合は、チューナーボタンを押します。
LINE入力での設定の場合は、LINEボタンを押して、LINE1かLINE2を選択します。

2. 録音ボタンを押します

REC

3. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

4. |◀◀ ▶▶| ボタンで"D.VOL"か"A.VOL"を選択します

CD1、LINE1のデジタル入力にしている場合は、"D.VOL"、それ以外のアナログ入力にしている場合は、"A.VOL"を選択します。

- デジタル入力による録音

→D.VOL ?

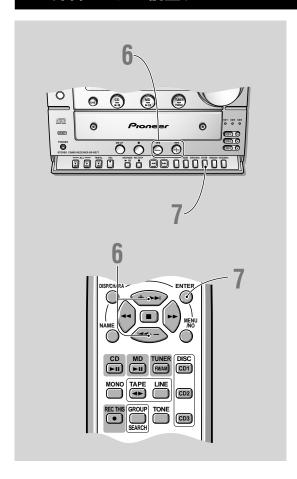
- アナログ入力による録音

→A.VOL ?

5. エンターボタンを押します

ENTER

中止する場合は、停止(■)ボタンかメニュー / ノーボタンを押します。

メ モ

▼ 録音レベルの設定は、CDやLINE1のデジタル入力とアナログ入力、または、チューナーとLINE2のアナログ入力のそれぞれで設定することができます。

注 意

◆ LINE入力からアナログ録音する場合、アナログ入力のレベルを下げても、録音したものを再生すると、歪みっぽく感じられることがあります。
これは接続された外部機器の出力レベルが大きいためで、入力アッテネーターをオンにすると改善されることがあります。（71ページ参照）

6. |◀◀ ▶▶|ボタンで、録音レベルを調整します

ここが点灯するとレベルオーバーです。
点灯しない最大のレベルに調整します。

- デジタル録音レベルの調整範囲は、MIN(－∞) ～ +20dBの範囲内です。0dBが初期値となります。録音レベルが初期値である0dB以外に調整されると、表示部に "D.VOL" が点灯します。
- アナログ録音レベルの調整範囲は、MIN(－∞) ～ +20dBの範囲内です。0dBが初期値となります。録音レベルが初期値である0dB以外に調整されると、表示部に "A.VOL" が点灯します。

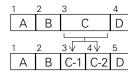
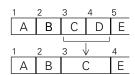
7. エンターボタンを押します

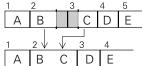
ENTER

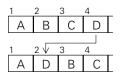
MDの編集機能について

曲順を変えたり、1曲を2曲に分けるなどの編集をして、自分だけのオリジナルディスクづくりができます。ただし、誤消去防止つまみが開いたMD（59ページ参照）では編集機能は使うことはできません。編集機能を使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。
編集機能には次のようなものがあります。またアンドゥ機能（51ページ参照）を使うと、1つ前の編集作業をキャンセルすることができます。ただし、グループ登録しているディスクではアンドゥ機能を使用できません。

ディスクや曲、グループに名前を付ける（ネーム機能）－ 39～42ページ

録音した曲に曲名、録音したディスクにディスク名、登録したグループにグループ名を付けることができます。
ディスクに名前をつける機能をディスクネーム機能、曲に名前をつける機能をトラックネーム機能、グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
カタカナ、アルファベット（A～Z、a～z）数字、記号を使用できます。
ディスク名とグループ名は合わせて最大約200文字まで入力できます。曲名は1曲につき、100文字まで入力できます。ディスク名と曲名、グループ名を合わせて、1枚のディスクに約1700文字まで入力することができます。（ただしカタカナを入力すると、入力できる文字数は半分以下となります。）

1つの曲を2つの曲に分ける（デバイド機能）－ 43ページ

1曲を途中から2つの曲に分けます。分けた曲以降の曲番は自動的に付けかえられます。

Cを2つに分けて新しくC-1、C-2の2曲にした例

連続している2つの曲をつないで1つの曲にする（コンバイン機能）－ 44ページ

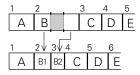
C、Dの2曲を1曲にして新しくCとします。つないだ曲以降の曲番は、自動的に付けかえられます。

消去してその前後をつなぐ（A-Bコンバイン）－ 45ページ

設定した任意の部分を消去して、その前後の曲を1つの曲としてつなげます。

1曲だけ移動する（ムーブ機能）－ 47ページ

ある曲を好きな位置に移動して曲順をかえることができます。並べ変えた後の曲番は自動的に付けかえられます。

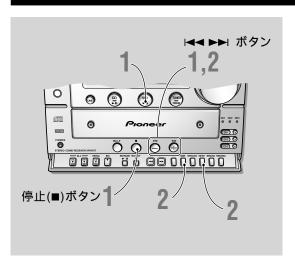
4曲目のDを2曲目に移動する例

1曲だけ消す（トラックイレース機能）－ 48ページ

消したい曲を指定するだけで、1曲をまるごと消すことができます。消した曲は曲名ごと消えます。また、消した曲以降の曲番は自動的に付けかえられます。

ディスクの全曲を消す（オールイレース機能）－ 49ページ

一度にディスク中の全曲を消すことができます。この場合は、ディスク名も消えます。

設定した一部分だけを消す（A-Bイレース機能）－ 50ページ

指定した任意の部分だけを消すことができます。曲の一部分を消去した場合は、その前後が別々の曲になります。

2曲目のBの一部分を消した例

ディスクや曲、グループに名前をつける（ネーム機能）

１枚のディスクには、ひとつのディスク名と最大２５５曲の曲名とグループ名をつけることができます。
文字を入力する方法は、本体で入力する方法とリモコンで入力する方法があります。
入力できる文字の種類については、42ページ（ネーム機能で入力できる文字の種類）を参照してください。

本体で名前をつける

1.

ディスクに名前をつけるときは....

ＭＤボタンを押し、停止(■)ボタンを押します。

曲に名前をつけるときは....

|◀◀ ▶▶| ボタンで名前をつけたい曲を選びます。
演奏中または録音中でも名前をつけることができます。

グループに名前をつけるときは....

停止(■)ボタンを押してから、56ページを参照して名前をつけたいグループを選びます。
ただし、演奏中または録音中に名前をつけることはできません。

2.

ディスクに名前をつけるときは....

ネームボタンを押します。

```
DISC NAME    [A]
```

［Ａ］: 大文字アルファベット入力
［ａ］: 小文字アルファベット入力
［０］: 数字、記号入力
［ア］: カタカナ入力

MD停止中で曲、グループに名前をつけるときは....

曲に名前をつける場合は....
ネームボタンを押した後、|◀◀　▶▶| ボタンで"TRACK" を選び、エンターボタンを押します。

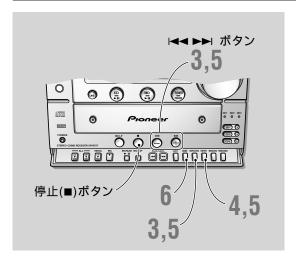
```
MD NAME
→TRACK          ?
```

グループに名前をつける場合は....
ネームボタンを押した後、|◀◀　▶▶| ボタンで"GROUP" を選び、エンターボタンを押します。
グループ登録されていないときは、グループ登録（53ページ参照）をしてから名前をつけてください。

```
MD NAME
→GROUP          ?
```

ＭＤ 演奏中または録音中の曲に名前をつけるときは....

ネームボタンを押します。

［Ａ］: 大文字アルファベット入力
［ａ］: 小文字アルファベット入力
［０］: 数字、記号入力
［ア］: カタカナ入力

メ モ

▼ 演奏中にトラックネームを入力していて、ネームの入力が完了する前に次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。演奏が終ってからつづきを入力してください。

注 意

◆ 誤消去防止つまみが開いているＭＤには、ディスクや曲、グループに名前をつけることはできません。

3. ⏮ ⏭ ボタンで入力する文字を選びます

DISC NAME [A]
N

"N" を入力したときの例

文字の種類は、ディスプレイ/キャラクターボタンを押して変更します

DISP/CHARA

A-Z（大文字）[A] → a-z（小文字）[a] → 数字、記号 [0] → カタカナ [ア] → ネームリスト [Best of]

ネームリストとは、本機にあらかじめ用意されている単語です。実際には、89ページの表にある単語が表示されます。
⏮ ⏭ ボタンを押して、名前に使用する単語を選びます。

4. エンターボタンを押して決定します

ENTER

5. 手順 3 と 4 を繰り返して、すべての文字を入力します。

6. ネームボタンを押して終了します

NAME

途中で文字の入力を止める場合は、停止(■)ボタンを押します。

リモコンで名前をつける

1. ディスクに名前をつけるときは....

MD

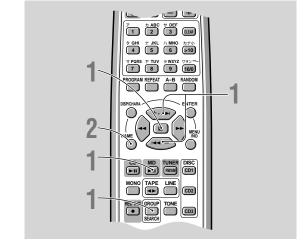
MDボタンを押し、停止(■)ボタンを押します。

曲に名前をつけるときは....

⏮ ⏭ ボタンで名前をつけたい曲を選びます。
演奏中または録音中にも名前をつけることができます。

グループに名前をつけるときは....

GROUP SEARCH

停止(■)ボタンを押してから、グループサーチボタンで名前をつけたいグループを選びます。
ただし、演奏中または録音中に名前をつけることはできません。

2. ネームボタンを押します

NAME

DISC NAME [A]

[A] : 大文字アルファベット入力
[a] : 小文字アルファベット入力
[0] : 数字、記号入力
[ア] : カタカナ入力

MD停止中で曲、グループに名前をつけるときは....

曲に名前をつける場合は....
ネームボタンを押した後、|◀◀　▶▶| ボタンで "TRACK" を選び、エンターボタンを押します。

MD NAME
→TRACK ?

グループに名前をつける場合は....
ネームボタンを押した後、|◀◀　▶▶| ボタンで "GROUP" を選び、エンターボタンを押します。
グループ登録されていないときは、グループ登録（53ページ参照）をしてから名前をつけてください。

MD NAME
→GROUP ?

MD 演奏中または録音中の曲に名前をつけるときは....

ネームボタンを押します。

TRK 12 NAME [A]

[A] : 大文字アルファベット入力
[a] : 小文字アルファベット入力
[0] : 数字、記号入力
[ア] : カタカナ入力

3. 入力する文字が表記されている文字 / 数字ボタンを押します

詳しくは 88 ページの文字入力パターンを参照してください。

DISC NAME [A]
N

"N" を入力したときの例

文字の種類をかえる場合はディスプレイ / キャラクターボタンを押します

A-Z（大文字）[A] → a-z（小文字）[a] → 数字、記号 [0] → カタカナ [ア] → ネームリスト [Best of] → A-Z（大文字）[A]

ネームリストとは、本機にあらかじめ用意してある単語です。実際には、89ページの表にある単語が表示されます。
|◀◀ ▶▶| ボタンを押して、名前に使用する単語を選びます。

4. エンターボタンを押して決定します

次に入力する文字の文字/数字ボタンが、いま押した文字/数字ボタンと違う場合は、この操作は必要ありません。

5. 手順 3 と 4 を繰り返して、すべての文字を入力します

6. ネームボタンを押して終了します

途中で文字の入力を止める場合は、停止(■)ボタンを押します。

メ モ

▼ 演奏中にトラックネームを入力していて、ネームの入力が完了する前に次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。演奏が終ってからつづきを入力してください。

注 意

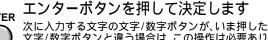
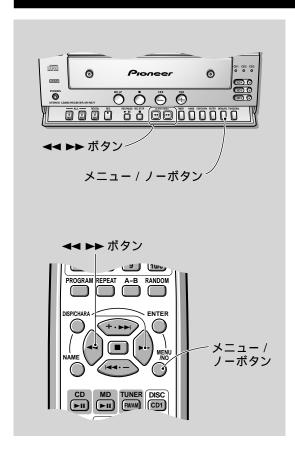
◆ 誤消去防止つまみが開いている MD には、ディスクや曲、グループに名前をつけることはできません。

ネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）：
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.,'/□（空白）

アルファベット（小文字）：
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz.,'/□（空白）

数字、記号：
0123456789!”＃＄％＆’()＊+,ー./:;<=>?@_ `□（空白）

カタカナ：
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛゜ー□（空白）

文字を追加するには

1. **文字入力中に ◀◀ ▶▶ ボタンを押して点滅を追加する文字位置まで移動させます**

2. **追加する文字を入力します**

文字を削除するには

1. **文字入力中に ◀◀ ▶▶ ボタンを押して点滅を削除する文字位置まで移動させます**

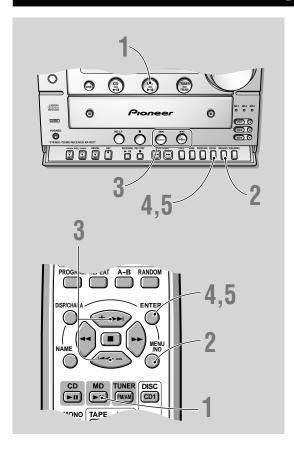
2. MENU/NO **メニュー / ノーボタンを押します**

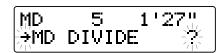
文字が削除されます。

文字を変更するには

1. **文字入力中に ◀◀ ▶▶ ボタンを押して点滅を変更する文字位置まで移動させます**

2. MENU/NO **メニュー / ノーボタンを押して文字を削除します**

3. **新しい文字を入力します**

曲を 2 つに分ける（デバイド機能）

録音後に 1 つの曲を 2 つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番号を記録することができます。
分けた曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。
また、分けた曲に曲名がついていた場合は、両方に同じ名前がつきます。

1. 演奏中に曲を分ける位置で MD ボタンを押します

演奏が一時停止します。

2. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

3. ⏮ ⏭ ボタンで "MD DIVIDE" を選びます

4. エンターボタンを押します

ENTER

中止する場合は、メニュー / ノーボタンを押します。

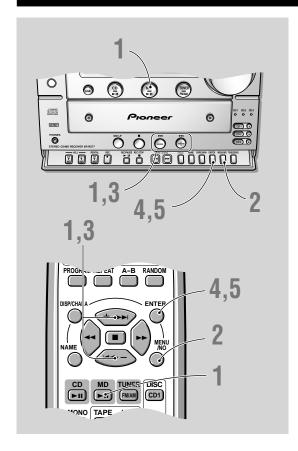
DIVIDE
TRK 5 ?

5. もう一度、エンターボタンを押します

ENTER

デバイド機能を実行します。
"COMPLETE" と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 1枚のMDで最大254曲まで曲を分けることができますが、MD の状態によってはそれ以下になる場合もあります。（60 ページ参照）

注 意

◆ 次の場合はデバイドの操作はできません。
・プログラム演奏が設定されているとき
・ランダム演奏が設定されているとき
◆ リピート演奏が設定されている場合は解除されます。
◆ LP4 モードで長時間録音した曲を分けると、分けた部分でノイズが発生する場合があります。

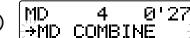
連続している 2 つの曲をつなぐ（コンバイン機能）

連続したとなり同士の曲をつないで、1 曲にまとめます。
この編集をすると、以下のようにディスクの内容が変更されます。

- つないだ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。
- つないだ曲に曲名がついている場合は､前の曲の曲名がつきます。

例） 3 曲目と 4 曲目をつなぐ場合

1. つなぐ曲の曲番号が大きい曲の演奏中に、MD ボタンを押します

MD ▶II

演奏が一時停止します。
例の場合は、4 曲目で演奏一時停止させます。
MD停止中に⏮ ⏭ ボタンで曲番号を選んでから操作することもできます。

2. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

3. ⏮ ⏭ ボタンで"MD COMBINE"を選びます

4. エンターボタンを押します

中止する場合は、メニュー / ノーボタンを押します。

ENTER

COMBINE
TRK 3+TRK 4?

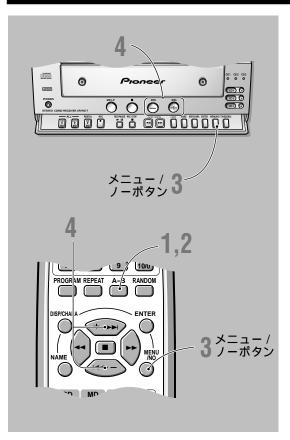
5. もう一度、エンターボタンを押します

ENTER

コンバイン機能を実行します。
"COMPLETE" と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能（47ページ参照）で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。
▼ グループ登録されているディスクで、グループをまたいで曲をつないだ場合、つないだ後ろの曲は前の曲のグループに登録されます。

注 意

◆ デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなぐことができません。
◆ 違う録音モードで録音した曲同士は、つなぐことができません。
◆ 各録音モードで、ある一定の秒数以下の短い曲は、つながらないことがあります。
・通常のステレオ録音 .... 8 秒以下
・モノラル録音または LP2 録音 .... 16 秒以下
・LP4 録音 .... 32 秒以下
◆ 次の場合はコンバインの操作はできません。
・プログラム演奏が設定されているとき
・ランダム演奏が設定されているとき
・グループプレイモードが設定されているとき
◆ リピート演奏が設定されている場合は解除されます。

消去してその前後をつなぐ(A-B コンバイン)

設定した任意の部分を消去して、その前後を 1 つの曲としてつなげます。

この編集をすると、以下のようにディスクの内容が変更されます。

- つないだ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。
- つないだ曲に曲名がついている場合は、前の曲の曲名がつきます。

1. 演奏を聞きながら、消去したい部分の開始点で A-B ボタンを押します

A-B

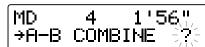
表示部に、"A" が点灯します。

```
MD      3    0'27"
        A POINT
```

2. 演奏を聞きながら、消去したい部分の終止点で A-B ボタンを押します

A-B

表示部に、"A-B" が点灯します。

```
MD      4    1'56"
        B POINT
```

3. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

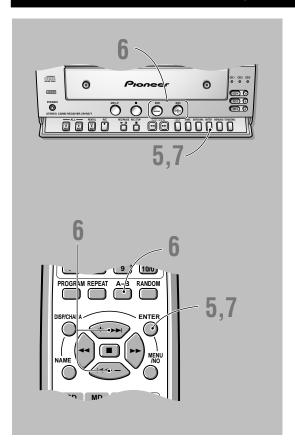
4. ⏮ ⏭ ボタンを押して、"A − B COMBINE" を選びます

メ モ

▼ 調整できる範囲は、長時間録音モードの設定によって以下のとおりになります。

長時間録音モード	1ステップの秒数	調整できる範囲
STEREO	11.6ms	±176ステップ
MONO、LP2	23.2ms	±88ステップ
LP4	46.4ms	±44ステップ

▼ 作業を途中で中止する場合は、メニュー/ノーボタンを押します。

注 意

◆ 終止点 B は、開始点 A の位置よりも後ろにしか調整できません。（POINT ERROR と表示されます）

◆ 調整範囲は設定している曲中からしか選べません。

◆ 次の場合は A-B コンバインの操作はできません。

・プログラム演奏が設定されているとき

・ランダム演奏が設定されているとき

・グループプレイモードが設定されているとき

◆ LP4 モードで長時間録音した曲同士をつなげると、つなぎ目部分でノイズが発生する場合があります。

5. エンターボタンを押します

ENTER

A-B 間を消去し、その前後の数秒間の演奏が始まりますので、つなぐ位置の確認ができます。

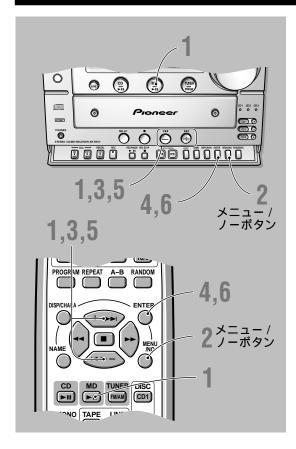
6. ⏮ ⏭ ボタンを押して、開始点 A と終止点 B の微調整をします

+ にすると曲の後ろにポイントが移動し、－にすると曲の前にポイントが移動します。

A-B COMBINE
A:+　2　B:　　0

開始点 A を微調整しているときの表示

A-B ボタンを押すと、終止点 B の微調整に移ります。

A-B

押すごとに、開始点 A と終止点 B の微調整が切り変わります。

7. エンターボタンを押します

ENTER

A-B コンバイン機能を実行します。
"COMPLETE" と表示されると操作終了です。

1曲だけ移動する（ムーブ機能）

あるひとつの曲を好きな位置に移動して、曲順をかえることができます。

例）　8曲目を6曲目に移動する場合

1. 移動したい曲が演奏中に、MDボタンを押します

演奏が一時停止します。
例の場合は、8曲目を演奏中にMDボタンを押して演奏一時停止にします。
MD停止中に⏮◀◀ ▶▶⏭ ボタンで移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

2. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

3. ⏮◀◀ ▶▶⏭ ボタンで"MD MOVE"を選びます

4. エンターボタンを押します

ENTER

MOVE
TRK 8→TRK 1?

5. ⏮◀◀ ▶▶⏭ ボタンを押して、移動先の曲番号を選びます

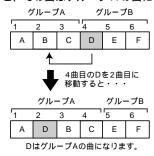
例の場合は、6を選びます。

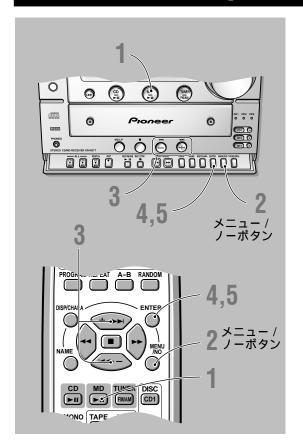
6. エンターボタンを押します

ENTER

ムーブ機能を実行します。

"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、メニュー/ノーボタンを押します。
▼ グループ登録しているディスクの場合、移動した曲は移動先の曲のグループとなります。例えば、グループBに登録されている曲をグループAの範囲の曲番号に移動すると、その曲はグループAの曲になります。

Dはグループ Aの曲になります。

注意

◆ 次の場合はムーブの操作はできません。
・プログラム演奏が設定されているとき
・ランダム演奏が設定されているとき
・グループプレイモードが設定されているとき
◆ リピート演奏が設定されている場合は解除されます。

1 曲だけ消す（トラックイレース機能）

選択した一つの曲とその曲の名前だけを消します。
消した曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

1. 消したい曲の演奏中に、MDボタンを押します

演奏が一時停止します。
MD停止中に⏮ ⏭ ボタンで移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

2. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

3. ⏮ ⏭ ボタンで "MD TRK ERASE " を選びます

```
MD      8    1'56"
→MD TRK ERASE ?
```

4. エンターボタンを押します

確認の表示が出ます。

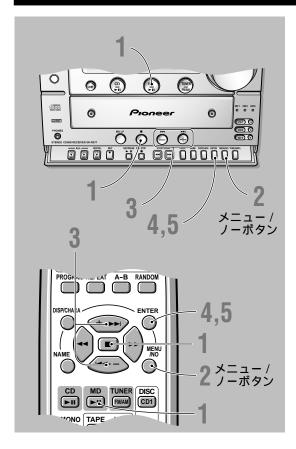
ENTER

```
TRACK ERASE
 TRK   8 ?
```

5. もう一度、エンターボタンを押します

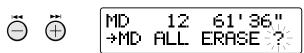
ENTER

選んだ曲を消します。
"COMPLETE" と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、メニュー/ノーボタンを押します。

注 意

◆ 次の場合はトラックイレースの操作はできません。
・プログラム演奏が設定されているとき
・ランダム演奏が設定されているとき
・グループプレイモードが設定されているとき
◆ リピート演奏が設定されている場合は解除されます。

全曲を消す（オールイレース機能）

ディスクの全曲を消します。
ディスク名や曲名、グループ名も、すべて消えてしまいます。

1. MDボタンを押し、停止(■)ボタンを押します

2. メニュー／ノーボタンを押します

MENU/NO

3. ⏮ ⏭ ボタンで"MD ALL ERASE "を選びます

4. エンターボタンを押します

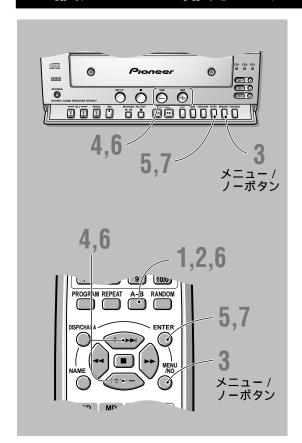
確認の表示が出ます。

ENTER

5. もう一度、エンターボタンを押します

ENTER

すべての曲とディスクネームが消えます。
"COMPLETE" と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、メニュー/ノーボタンを押します。

注 意

◆ 次の場合はオールイレースの操作はできません。
・プログラム演奏が設定されているとき
・ランダム演奏が設定されているとき
・グループプレイモードが設定されているとき
◆ リピート演奏が設定されている場合は解除されます。

設定した一部分だけを消す（A-B イレース機能）

指定した任意の部分だけを消すことができます。
曲の一部分を消去した場合は、その前後が別々の曲になります。

1. 演奏を聞きながら、消去したい部分の開始点で A-B ボタンを押します

A-B

表示部に、"A" が点灯します。

```
MD      3    0'27"
        A POINT
```

2. 演奏を聞きながら、消去したい部分の終止点で A-B ボタンを押します

A-B

表示部に、"A-B" が点灯します。

```
MD      4    1'56"
        B POINT
```

3. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

4. |◀◀ ▶▶| ボタンを押して、"MD A − B ERASE" を選びます

```
MD      4    1'56"
→A-B ERASE       ?
```

5. エンターボタンを押します

ENTER

A-B 間を消去し、その前後の数秒間の演奏が始まりますので、つなぐ位置の確認ができます。

6. |◀◀ ▶▶| ボタンを押して、開始点 A と終止点 B の微調整をします

+ にすると曲の後ろにポイントが移動し、－にすると曲の前にポイントが移動します。

```
 A-B ERASE
A:+  2  B:    0
```

開始点 A を微調整しているときの表示

A-B

A-B ボタンを押すと、終止点 B の微調整に移ります。

押すごとに、開始点 A と終止点 B の微調整が切り変わります。

7. エンターボタンを押します

ENTER

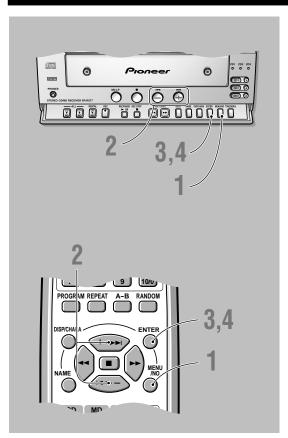
A-B イレース機能を実行します。
"COMPLETE" と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 調整できる範囲は、長時間録音モードの設定によって以下のとおりになります。

長時間録音モード	1ステップの秒数	調整できる範囲
STEREO	11.6ms	±176ステップ
MONO、LP2	23.2ms	±88ステップ
LP4	46.4ms	±44ステップ

▼ 作業を途中で中止する場合は、メニュー/ノーボタンを押します。

注 意

◆ 終止点 B は、開始点 A の位置よりも後ろにしか調整できません。（POINT ERROR と表示されます）
◆ 調整範囲は設定している曲中からしか選べません。
◆ 次の場合は A-B イレースの操作はできません。
・プログラム演奏が設定されているとき
・ランダム演奏が設定されているとき
・グループプレイモードが設定されているとき
◆ LP4 モードで長時間録音した曲同士をつなげると、つなぎ目部分でノイズが発生する場合があります。

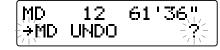
編集をキャンセルする（アンドゥ機能）

編集操作を行った後で、1つ前の編集作業をキャンセルすることができます。
ただし、グループ登録されたMDディスクではアンドゥ機能は使えません。

キャンセルできる編集の種類

- デバイド機能
- コンバイン機能
- A-Bコンバイン機能
- ムーブ機能
- トラック/オール/A-Bイレース機能
- MD停止中のネーム機能

キャンセルできなくなる編集の種類

この操作を行うと、ひとつ前に行った編集をキャンセルできなくなります。

- MDの取り出しを行ったとき
- 電源を切ったとき
- 停電が発生したとき
- 新たな編集操作をしたとき
- 録音を開始したとき
- アンドゥを行ったとき

操作手順

1. MD停止中に、メニュー/ノーボタンを押します

MENU/NO

2. ⏮ ⏭ボタンで"MD UNDO"にします

3. エンターボタンを押します

ENTER

確認の表示が出ます。

UNDO
OK?

4. もう一度、エンターボタンを押します

ENTER

アンドゥ機能を実行します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、メニュー/ノーボタンを押します。

ＭＤのグループ機能について

グループ機能とは

長時間録音モード（LP2またはLP4モード）で録音すると、複数のCDを１枚のMDに録音できたり、100曲以上録音できたりして便利です。

しかし・・・
「録音した３枚目のCDはMDの何曲目からなの？」というように曲を見つけるのが大変です。
そこで・・・
本機では、MDに収録されている曲をグループ機能を使って簡単に操作できます。

グループディスクを作成する（グループ登録）— 53ページ

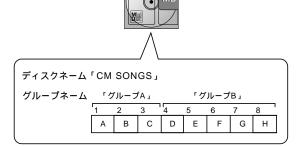
● グループを登録する
MDディスクに収録されている複数の曲をグループとして登録したディスク（**グループディスク**）を作成します。なお、本機でMD1枚に登録できるグループ数は、最大10個です。

一度グループ登録したあとでも、以下の編集ができます。
● グループを変更する
● 登録したグループを一部解除する
● 登録したグループをすべて解除する

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）— 56ページ

指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。

グループA ➡ グループB ➡ グループC の先頭曲（1曲目 ➡ 4曲目 ➡ 8曲目）というように、各グループの先頭曲の頭出しが簡単に行えます。

選択したグループだけ演奏するよう設定する（グループ演奏機能）— 57ページ

グループ登録されているMDにおいて、ディスク全体の演奏を行なうオールトラックプレイモードと、選択したグループの演奏だけを行なうグループプレイモードとに切りかえることができます。

グループに名前を付ける（グループネーム機能）— 39～42ページ

登録したグループにグループ名を付けることができます。
グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
入力できる文字の種類、最大文字数については、38ページを参照してください。

グループ登録したMDディスクについて

グループ機能はMD規格の推奨方法にもとづいています。
本機でグループ編集したMDディスクは、ほかのグループ機能搭載機器でもグループ編集ができます。

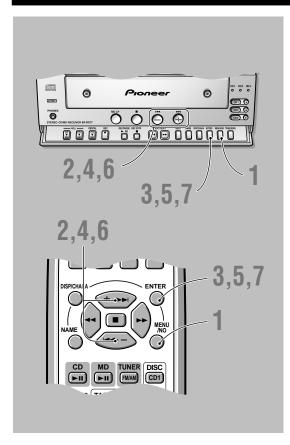
上図のようなグループ登録したMDディスクのグループ情報は、実際はディスクネームの情報を格納する場所に書かれています。
そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスクネームを表示させると、以下のまま表示されますが故障ではありません。

0; CM SONGS ／／ 1 − 3; グループ A ／／ 4 − 8; グループ B

グループディスクをグループ機能を搭載していない機器で編集を行った場合

グループ登録したグループディスクを、グループ機能を搭載してない機器で編集しないでください。
例えば、ムーブ機能やトラックイレース機能の編集を行うと、グループとして登録していた曲番号が編集前と異なってしまいます。

本機のグループ機能の制限

本機で扱えるグループは最大10個までです。
そのため、本機で11個目以上のグループを持つMDディスクを使用した場合、11個目以降のグループは以下の作業を行うと消去されますのでご注意ください。
● MDの編集（39～51ページの操作）
● グループの登録、変更、解除（53～55ページの操作）

ただし、パイオニア製以外の機器でグループ登録されたMDディスクのなかには、グループネームはあるのに、曲番号の範囲が無いグループもあります。その場合、本機ではグループとして認識されません。これらのグループは以下の編集をすると消去されますのでご注意ください。
● MDの編集（39～51ページの操作）
● グループの登録、変更、解除（53～55ページの操作）

グループディスクを作成する（グループ登録）

MD に収録されている複数の曲をグループ登録します。
ただしグループ登録は、曲番号が１～３のように連続している曲でしか行なうことはできません。
曲番号が離れている場合は、ムーブ機能（47 ページ参照）を使用して、あらかじめ連続した曲番号になるようにしておきます。
１枚の MD ディスクに登録できるグループは、最大で 10 個です。

グループを登録する

例）　12 ～ 15 曲目を新しいグループに設定します。

1. MENU/NO **MD停止中に、メニュー / ノーボタンを押します**

2. **⏮ ⏭ボタンで"NEW GROUP"にします**

```
MD    27    5'36"
→NEW GROUP     ?
```

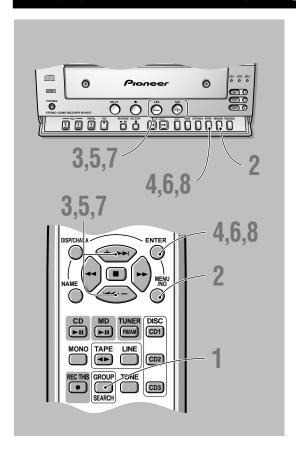
3. ENTER **エンターボタンを押します**

4. **⏮ ⏭ ボタンでグループの先頭曲を選びます**

```
MD NEW GROUP
 →TRK  12-1    ?
```

5. ENTER **エンターボタンを押します**

6. **⏮ ⏭ ボタンでグループの最終曲を選びます**

```
MD NEW GROUP
 →TRK  12-15   ?
```

7. ENTER **エンターボタンを押します**

12 ～ 15 曲目が新しいグループに登録されました。"COMPLETE" と表示されると操作終了です。

メ モ

▼「CD1 にセットしたディスクをまるごと録音する」、「CD1～3にセットしたディスクをまるごと録音する」（16～17ページ参照）の手順で録音すると、CD一枚ごとに自動でグループ登録されます。
▼ 1 つの曲を複数のグループに登録できません。

注 意

◆ 1 つの曲を複数のグループに登録することはできません。例えば、1～3 曲目をグループ A に 3～5 曲目をグループ B にというように 3 曲目を二つのグループに登録することはできません。
◆ 曲を飛び越えてグループ登録することはできません。例えば 1、3、5 曲目というような飛び飛びの曲番号をグループとして登録することはできません。
◆ すでに登録されているグループと登録しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、登録しようとしている方の範囲を優先します。
◆ 本機でグループ登録した MD ディスクでも、グループ機能のない MD プレーヤーではグループ演奏をすることはできません。またその場合、ディスクネームに入力していない文字列が表示されます。これは、グループ登録した情報をディスクネームで管理しているためで、MD プレーヤーの故障ではありません。

グループディスクを変更する

グループを変更する

例）12～15曲目のグループを10～13曲目に変更します。

1. GROUP SEARCH

MDの停止中にグループサーチボタンを押して変更するグループの先頭曲を選びます

2. MENU/NO

メニュー / ノーボタンを押します

3. **⏮ ⏭ ボタン で"GROUP EDIT"にします**

```
MD    12    1'36"
→GROUP EDIT    ?
```

4. ENTER

エンターボタンを押します

5. **⏮ ⏭ ボタン でグループの先頭曲を変更します**

```
MD GROUP EDIT
 →TRK  10-15  ?
```

6. ENTER

エンターボタンを押します

7. **⏮ ⏭ ボタン でグループの最終曲を変更します**

```
MD GROUP EDIT
 →TRK  10-13  ?
```

8. ENTER

エンターボタンを押します

グループ変更が実行されました。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

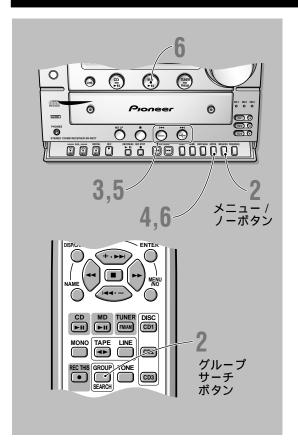
▼ 1つの曲を複数のグループに登録できません。

注 意

◆ すでに登録されているグループと登録しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、登録しようとしている方の範囲を優先します。
◆ グループプレイモード（57ページ参照）が設定されているときは、登録したグループの変更、解除はできません。

グループディスクを変更する

MD ボタン
停止(■)ボタン
⏮ ⏭ ボタン
エンターボタン
メニュー / ノーボタン
⏮ ⏭ ボタン
停止(■)ボタン
エンターボタン
メニュー / ノーボタン
MD ボタン
グループサーチボタン

登録したグループを解除する

1. GROUP SEARCH **MD の停止中にグループサーチボタンを押して解除するグループの先頭曲を選びます**

2. MENU/NO **メニュー / ノーボタンを押します**

3. **⏮ ⏭ ボタンで"GROUP CANCEL"にします**

```
MD    12    1'36"
→GROUP CANCEL ?
```

4. ENTER **エンターボタンを押します**

確認の表示が出ます。

```
MD GROUP CANCEL
→TRK     12-15 ?
```

5. ENTER **エンターボタンを押します**

グループ解除が実行されました。
"COMPLETE" と表示されると操作終了です。

登録したグループをすべて解除する

1. **MD ボタンを押します**

2. **停止(■)ボタンを押します**

3. MENU/NO **メニュー / ノーボタンを押します**

4. **⏮ ⏭ ボタンで"GROUP CANCEL"にします**

```
MD    12    1'36"
→GROUP CANCEL ?
```

5. ENTER **エンターボタンを押します**

確認の表示が出ます。

```
MD GROUP CANCEL
 → ALL CANCEL ?
```

6. ENTER **エンターボタンを押します**

すべてのグループの解除が実行されました。
"COMPLETE" と表示されると操作終了です。

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）

グループ登録されているMDの場合、指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。
グループ登録されていない場合は、53ページを参照してグループ登録をしてください。

本体で選ぶ

演奏中または停止中に、グループをメニューから選ぶことができます。

1. **グループ登録されたMDをセットします**

2. MENU/NO **メニュー / ノーボタンを押します**

3. **|◀◀ ▶▶|ボタンで"GROUP SEARCH"にします**

```
MD   31  93'48"
→GROUP SEARCH ?
```

4. ENTER **エンターボタンを押します**

5. **|◀◀ ▶▶| ボタンで聞きたい曲のグループを選びます**

6. ENTER **エンターボタンを押します**

演奏中の場合、選んだグループの先頭曲の演奏を開始します。
停止中の場合、選んだグループの先頭曲を表示します。続けてMDボタンを押すと、先頭曲の演奏を開始します。

リモコンで選ぶ

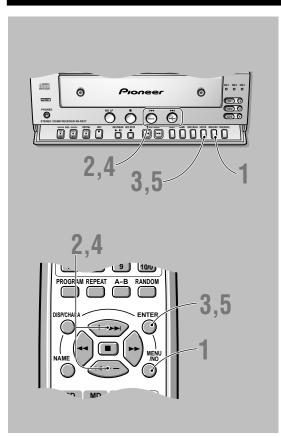
演奏中または停止中に、次のグループを簡単に選ぶことができます。

リモコンで操作します。

1. **グループ登録されたMDをセットします**

2. GROUP SEARCH **グループサーチボタンを押して聞きたい曲のグループを選びます**

押すごとに、次々とグループをスキップしていきます。

メ モ

▼ 本機では、全曲ダイレクト録音ボタンやCD1ダイレクト録音ボタン、または録音メニュー機能を使ってCDの全曲をMDに録音した場合、収録されたMDの曲が自動的にCDの曲ごとにグループ登録されます。

注 意

◆ プログラム演奏が設定されている場合は、グループを選ぶことはできません。
◆ グループに名前が入力されていない場合は、"NO NAME"と表示されます。

選択したグループだけ演奏するよう設定する(グループ演奏機能)

グループ登録されているMDにおいて、選択したグループだけを演奏するよう、次の二つの演奏モードが設定できます。

- グループプレイモード
  グループサーチ機能（56ページ参照）で選択したグループ内の曲だけ演奏します。
- オールトラックプレイモード
  グループに関係なく、ディスク全体の演奏を行ないます。

1. MDの停止中にメニュー/ノーボタンを押します

MENU/NO

2. ⏮ ⏭ボタンで"MD PLAY MODE"にします

MD 12 53'48"
MD PLAY MODE ?

3. エンターボタンを押します

ENTER

中止する場合は、停止(■)ボタンを押します。

4. ⏮ ⏭ボタンでオールトラックプレイモードかグループプレイモードかを選びます

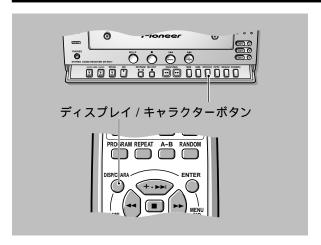
- グループプレイモード

→ GROUP MODE ?

- オールトラックプレイモード

→ ALL MODE ?

5. エンターボタンを押します

ENTER

オールトラックプレイモードを設定した場合は、"ALL"が点灯します。

注 意

◆ グループプレイモードに設定されていると、A-Bリピート（29ページ）とMDの編集作業（39～51ページ）、グループディスクの作成（53ページ）はできません。グループ演奏の設定を解除してから操作をしてください。

MDの表示について

ディスプレイ / キャラクターボタンを押します

押すごとに表示内容が切りかわります。

停止中の表示

曲番の指定がないとき（停止(■)ボタンを押した状態）

グループプレイモードの場合

グループの全曲数 (5)/ 総演奏時間 (20'27")/

```
MD   5   20'27"
    GROUP TOTAL
```

グループの先頭曲－最終曲 (1-12)/
グループ名 * (BEST1)

```
MD   1-12
BEST1
```

録音可能時間 **（42'07")

```
MD REC    42'07"
          REMAIN
```

オールトラックプレイモードの場合

ディスクの全曲数 (15)・総演奏時間 (61'27")/
ディスク名 * (HIT SONGS)

```
MD  15   61'27"
HIT SONGS
```

録音可能時間 **（42'07")

```
MD REC    42'07"
          REMAIN
```

停止中に、⏮ ⏭ ボタンを押すと、以下の表示になります。

選んだ曲の曲番号 (12)/ 演奏時間 (3'01")/
曲名表示 *（TOMORROW）

```
MD  12    3'01"
TOMORROW
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループの先頭曲－最終曲 (1-12)/
グループ名 *(BEST1)

```
MD   1-12
BEST1
```

演奏中の表示

演奏曲の番号 (12)/ 曲の演奏経過時間 (20'15")/
曲名 * (JAZZ)

```
MD  12   20'15"
JAZZ
```

演奏曲の番号 (12)/ 曲の残り時間 (2'25")

```
MD  12    2'25"
         REMAIN
```

ディスク演奏終了までの残り時間 (38'25")

```
MD  ALL  38'25"
         REMAIN
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループの先頭曲－最終曲 (1-12)/
グループ名 * (BEST1)

```
MD   1-12
BEST1
```

録音および録音一時停止中の表示

CD:演奏曲の番号 (7)/ 演奏経過時間 (1'05")/
MD:録音曲番 (12)/ 録音経過時間 (1'05")

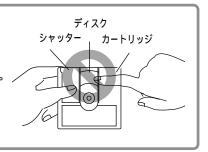
```
CD1    7   1'05"
MD    12   1'05"
```

CD:演奏曲の番号 (7)/ 曲の演奏残り時間 (3'24")/
MD:録音可能時間 (45'18")

```
CD1    7   3'24"
MD  REC   45'18"
```

CD:ディスクの残り時間 (23'57")/
MD:録音可能時間 (45'18")

```
CD1 ALL   23'57"
MD  REC   45'18"
```

メ モ

停止中の表示で曲番号を指定した場合は、その曲がグループ登録されていないとディスプレイ / キャラクターボタンを押しても表示は切り換わりません。

* ディスク名や曲名、グループ名が入力されていない場合は、"NO NAME" と表示されます。
** 表示されるのは、録音・再生用MDの場合です。再生専用のMDの場合は、"PlaybackMD" と表示します。

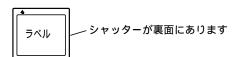
ＭＤの取り扱いかた

⚠ 注意

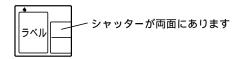
・ディスクに直接触れないでください。

・シャッターを無理に開けるとこわれます。

・分解しないでください。

下記マークのディスクをお使いください。

MDとは

- 直径64mmのディスクをカートリッジに収めたもので、ホコリに強く、キズもつきにくいなどCDに比べ取り扱いが簡単です。
- 録音や再生はデジタル方式ですので、CDに迫る高音質を再現します。また、テープのようにからんだり、伸びたりすることがなく、音質も劣化せず耐久性に優れています。

MDの種類について

再生専用と録音・再生用があります。

■再生専用MD（録音はできません）

CDと同じ光ディスクを使っています。

■録音・再生用MD

光磁気ディスクを使っているので、繰り返し録音することができます。

保管

- ケースに入れて保管してください。
- 次のようなところには保管しないでください。
  - 高温多湿の場所
  - 直射日光が当る場所
  - 砂やホコリの入りやすい場所

カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

ラベルの貼付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MDが取出せなくなります。

- 指定の場所(エリア内)に貼ってください。
- 重ねて貼付けないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。

録音したＭＤを誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。

再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。

応用編

ＭＤを使う

MD録音の基礎知識

TOC（トック）が記録されています

曲や音声と共に、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として（TOC:Table of Contents）が記録されています。
したがって、演奏や編集をするときには、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報としてTOCを手がかりに動作しています。
ですからMDで曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC情報もディスクに記録しますし、TOC情報を書き換えたりもしています。

MD録音とテープ録音のちがい

- MDは片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる時間の残りが確認できます。

TOCを記録するときの注意

TOCの記録中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しく演奏できない場合があります。

TOCはいつMDに記録される？

- MD取り出し(⏏)ボタンを押したとき
- 電源を切ってスタンバイ状態になるとき
- 録音を停止したとき

録音中に停電すると

MDへの録音中に、電源スイッチを切ったり電源コンセントが抜けたり停電があった場合は、その時の録音内容は全て消えてしまうことがあります。
すでに録音しているMDに追加して録音していた場合は、追加していた部分が消えてしまいます。

デジタル録音について

本機のデジタル録音のサンプリング周波数は44.1kHzです。他のサンプリング周波数の機器（BS/CSチューナー、DVD、DATの一部）でも32kHz、48kHzでのサンプリング周波数であれば自動的にその周波数に切り換わり、デジタル録音することができます。なお、DVDなどでデジタルコピーが禁止されている場合には、サンプリング周波数を変換してもデジタル録音はできません。また、本機では96kHzのサンプリング周波数は変換できません。このような場合にはアナログ録音に切りかえてください。

MDのシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。
これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MDの最大録音時間になっていないのに“TOC FULL”が表示されることがある。	MDでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大（255曲）になっていなくても、TOCの情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。（このようなMDは、不要なトラックを消去するか、全曲イレース機能を行なえば最初から使用できます。）
MDの最大録音時間になってないのに“DISC FULL”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下（通常のステレオ録音で録音時）の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(通常のステレオ録音で約2秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。（録音中に“DEFECT”と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。）
編集で曲と曲とをつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。

MDに録音できない場合

- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき
- MDが誤消去防止状態になっているとき
- MDの録音可能時間が残っていないとき
- "TOC FULL"（トック フル）が表示されたとき
- TOC（トック）が異常のとき

デジタルコピーに関するご注意

デジタルオーディオ（CD、MD、CD-R、衛星デジタル音楽放送など）では、音声信号をデジタル信号にてやり取りすることができます。
アナログ信号と違いデジタル信号でのやり取りでは、音楽を劣化の少ない状態で録音することが可能なために、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要となりました。
それが、シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)で、デジタル信号による録音を「何世代まで」と規制している方式です。概要は、以下の通りです。

1 デジタル録音されたものを、さらに別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へデジタル録音することはできない。

2 アナログ録音されたものは、別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へ1度だけデジタル録音することができる。

ご注意
- CS/BSチューナーでは、放送局側で放送チャンネルや番組のデジタル録音を禁止または制約している場合があるため、デジタル録音できないことがあります。
- アナログ録音をする場合は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)は関係ありません。

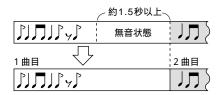
LP2、LP4録音について

本機でLP2、LP4モードで録音した曲は、MDLP対応機器以外では再生できません。
LP4モードでの録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。
音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2モードでの録音をおすすめします。

曲番号について

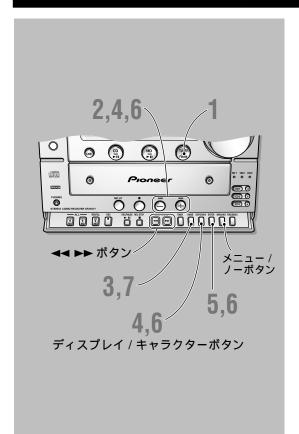
MDに曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。追加録音したときは、順に曲番号が大きくなります。

CDをデジタル録音したとき

CDなどについている曲番号と同じ所に、1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし4秒以下の曲がある場合などは、CDの曲番号と録音したMDの曲番号が一致しないことがあります。

ラジオ放送を録音したとき

1回の録音内容を1曲として曲番号がつきます。

CDやMD以外をデジタル録音した時やテープや外部機器を録音したとき

1.5秒以上の無音部分があると曲間と判断し、次に音が入力されたときに、曲番号が自動的につきます（オートマーク機能）。

- 信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。
- オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として記録することもできます。（33ページ参照）

アナログ録音したMDからデジタル録音したとき

MDなどについている曲番号と同じ所に、1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし4秒以下の曲がある場合などは、録音もとのMDの曲番号と録音したMDの曲番号が一致しないことがあります。

記憶させた放送局に名前をつける

記憶させた放送局（ステーション）に、12 文字以内で名前をつけることができます。
文字を入力する方法は、本体で入力する方法と、リモコンで入力する方法があります。
入力できる文字の種類については、次ページ（ネーム機能で入力できる文字の種類）を参照してください。

本体で名前をつける

1. チューナーボタンを押します

TUNER FM/AM

ラジオが聞ける状態にします。

2. ⏮ ⏭ ボタンで名前をつける放送局のステーションを選びます

3. ネームボタンを押します

NAME

ST- 7 NAME [A]

[A] : 大文字アルファベット入力
[a] : 小文字アルファベット入力
[0] : 数字、記号入力
[ア] : カタカナ入力

4. ⏮ ⏭ ボタンで入力する文字を選びます

ST- 7 NAME [A]
N

"N" を入力したときの例

DISP/CHARA

文字の種類は、ディスプレイ / キャラクターボタンを押して変更します

→ A-Z（大文字）[A] → a-z（小文字）[a] → 数字、記号 [0] → カタカナ [ア] →

5. エンターボタンを押して決定します

ENTER

6. 手順 4 と 5 を繰り返して、すべての文字を入力します。

7. ネームボタンを押して終了します

NAME

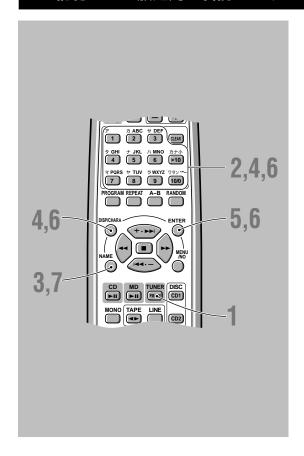
途中で文字の入力を止める場合は、停止(■)ボタンを押します。

メ モ

文字を追加するには

▼ 文字入力中に◀◀ ▶▶ ボタンを押して点滅を追加する文字位置まで移動させてから、追加する文字を入力します。

文字を削除するには

▼ 文字入力中に◀◀ ▶▶ ボタンを押して点滅を削除する文字位置まで移動させてから、メニュー / ノーボタンを押します。文字が削除されます。

文字を変更するには

▼ 文字入力中に◀◀ ▶▶ ボタンを押して点滅を変更する文字位置まで移動させます。次にメニュー / ノーボタンを押して文字を削除し、新しい文字を入力します。

名前のついたステーションの周波数を確認するには

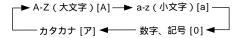
▼ ディスプレイ/キャラクターボタンを押すと、選ばれているステーションの周波数を約 3 秒間表示します。

記憶させた放送局に名前をつける

文字の追加や削除、変更については、前ページのメモを参照してください。

リモコンで名前をつける

1. TUNER FM/AM **チューナーボタンを押します**

2. 文字/数字ボタンを押して、名前をつけるステーションを選びます

3. ネームボタンを押します

NAME

[A] : 大文字アルファベット入力
[a] : 小文字アルファベット入力
[0] : 数字、記号入力
[ア] : カタカナ入力

4. 入力する文字が表記されている文字/数字ボタンを押します

詳しくは 88 ページの文字入力パターンを参照してください。

DISP/CHARA

文字の種類をかえる場合は、ディスプレイ/キャラクターボタンを押します

5. ENTER **エンターボタンを押して決定します**

次に入力する文字の文字/数字ボタンが、いま押した文字/数字ボタンと違う場合は、この操作は必要ありません。

6. 手順 4 と 5 を繰り返して、すべての文字を入力します。

7. NAME **ネームボタンを押して終了します**

途中で文字の入力を止める場合は、停止(■)ボタンを押します。

ネーム機能で入力できる文字の種類

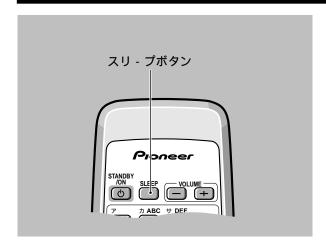
アルファベット（大文字）：
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . , ' /
□（空白）

アルファベット（小文字）：
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z . , ' /
□（空白）

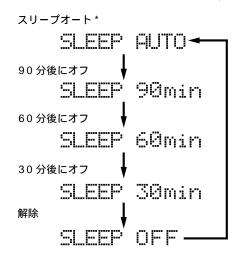
数字、記号：
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! ” # $ % & ’ ( ) ＊ + , ー
. / : ; < = > ? @ _ ｀ □（空白）

カタカナ：
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛゜ー□（空白）

応用編

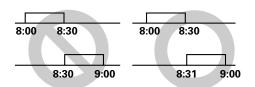
ラジオを聞く

決めた時間後に電源を切る（スリープタイマー）

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。
設定できる時間は、90分、60分、30分の3種類と、スリープオートです。

注 意

◆ スリープ動作中は表示が暗くなります。

リモコンで操作します。

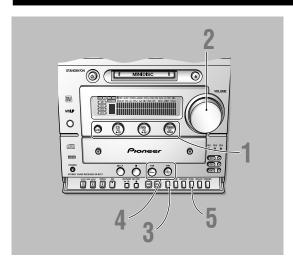
スリープボタンを押します。

押すごとに、以下のように切りかわります。

* スリープオート(SLEEP AUTO)
CD、MD、T-RS7（別売のカセットデッキ）の演奏中、またはMDやT-RS7の録音中に選ぶことができます。
（FM/AM放送は録音中の時だけ選ぶことができます。）
演奏または録音が終了して本機が停止してから1分後に自動的に電源が切れます。

タイマーを同時に使ったとき

注 意

目覚ましタイマーとタイマー録音を組み合わせて使う場合

◆ 目覚ましタイマーとタイマー録音が連続する設定をするときは、設定時刻が重ならないように設定間隔を1分以上あけてください。設定時間に間隔があいていないと、あとに動作予定のタイマー録音が動作しません。

◆ タイマー録音、目覚ましタイマー、スリープタイマーのタイマー動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。また、開始時刻が重なったときはタイマー録音が優先されます。

◆ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。
例えば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。

決めた時刻に演奏する（目覚ましタイマー）

本機の時計機能を使うと、毎日同じ時刻に演奏を開始して終了させることができます。
例えば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに演奏させることができます。
本体で操作します。

応用編

例 午前7時40分に演奏がスタートし、午前8時15分に演奏が終わるようにタイマーをセットするとき

1. 演奏させたい機器の準備をします

ラジオ放送で目覚めるには....

TUNER FM/AM

チューナーボタンを押してから、好きな放送局を受信します。

CDで目覚めるには....

CD ►II

CDをセットし、CD選択ボタンを押します。

MDで目覚めるには....

MD ►II

ディスクをセットし、MDボタンを押します。

T-RS7（別売のカセットデッキ）で目覚めるには....

TAPE ◄►

LINE

リモコンのTAPEボタンを押すか、本体のLINEボタンを押してTAPEを選択した後、カセットテープをセットします。

外部機器で目覚めるには....

LINEボタンを押して、LINE1かLINE2を選択した後、外部機器の演奏を準備しておきます。

2. 音量の調整を行ないます

設定した音量でタイマーがオンします。

3. タイマーボタンを押します

TIMER

タイマー動作

4. ⏮ ⏭ ボタンで "WAKE-UP SET ?" にします

CD1 1 0'27"
→WAKE-UP SET ?

5. エンターボタンを押します

ENTER

12:00am- :

メ モ

▼ 演奏させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。

注 意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定ができません。（10ページ参照）
◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示は点滅して動作しません。この場合はウェイクアップタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためてウェイクアップタイマーを設定し直してください。
◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、タイマーは動作しません。

6. ⏮ ⏭ ボタンで開始時刻の「時」を合わせます

例の場合は、7 にします。

7:00am– :

7. エンターボタンを押します

ENTER

開始時刻の「時」が入力されます。

7:00am– :

8. ⏮ ⏭ ボタンで開始時刻の「分」を合わせます

例の場合は、40 にします。

7:40am– :

9. エンターボタンを押します

ENTER

演奏開始時刻が設定されます。

7:40am– 7:40am

10. ⏮ ⏭ ボタンで終了時刻の「時」を合わせます

例の場合は、8 にします

7:40am– 8:40am

11. エンターボタンを押します

ENTER

終了時刻の「時」が入力されます。

7:40am– 8:40am

12. ⏮ ⏭ ボタンで終了時刻の「分」を合わせます

例の場合は、15 にします

7:40am– 8:15am

13. エンターボタンを押します

ENTER

設定内容を表示し、" ⏲ **WAKE–UP**"が点灯します。

14. スタンバイ / オン・ボタンを押して電源をオフにします

STANDBY/ON

途中で設定を中止にするには

停止(■)ボタンを押します

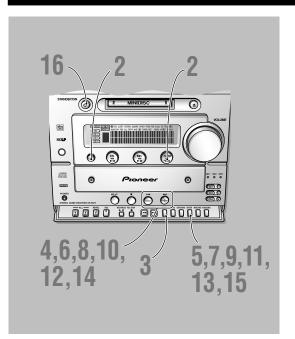
再度、目覚ましタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

解除するには

1. タイマーボタンを押します

TIMER

2. ⏮ ⏭ ボタンで "WAKE-UP OFF ?" にします

CD1 1 0'27"
→WAKE-UP OFF ?

3. エンターボタンを押します

ENTER

決めた時刻に録音する（タイマー録音）

本機の時計機能を使うと、決めた時刻にラジオ放送、またはLINE1に接続した外部機器の録音を開始して終了させることができます。例えば、お出かけするときや深夜のラジオ放送をタイマー録音を使ってMDに録音することができます。
本体で操作します。

例 午前7時40分から午前8時15分まで留守録音する場合

1. 録音用MDをセットします

テープ（T-RS7）に録音する場合は、録音用テープをセットします

2. 録音したい機器の準備をする

ラジオ放送を留守録音するには....

チューナーボタンを押してから、録音したい放送局を受信します。

LINE

外部機器を留守録音するには....

LINEボタンを押して、LINE1を選択したあと、外部機器の演奏を準備しておきます。

3. 本体のタイマーボタンを押します

TIMER

4. ⏮ ⏭ ボタンで"TIMER REC SET ?"にします

FM　82.50 MHz
→TIMER REC SET?

5. エンターボタンを押します

ENTER

12:00am–　　:

6. ⏮ ⏭ ボタンで開始時刻の「時」を合わせます

例の場合は、7にします。

7:00am–　　:

メモ

▼ MDに録音するときに、LP4またはLP2モード（19ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。

注意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定をすることはできません。（10ページ参照）
◆ タイマー録音中は音量は0になり、音は出ません。なお、タイマー録音終了後も音量は0になります。
タイマー録音開始後の音声を聞く場合は、音量を調整してください。
◆ タイマー録音は1度行うとタイマー動作はオフになります。そのつど設定してください。
◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、タイマーは動作しません。
◆ タイマー録音では録音準備のため、開始時刻の約30秒前に電源が入りますので、1～16の手順を開始時刻の1分以上前に行ってください。1分以上前に手順を行わなかった場合、録音ができない場合があります。

7. エンターボタンを押します

ENTER

開始時刻の「時」が入力されます。

7:00am– :

8. |◀◀ ▶▶| ボタンで開始時刻の「分」を合わせます

例の場合は、40 にします。

7:40am– :

9. エンターボタンを押します

ENTER

演奏開始時刻が設定されます。

7:40am– 7:40am

10. |◀◀ ▶▶| ボタンで終了時刻の「時」を合わせます

例の場合は、8 にします

7:40am– 8:40am

11. エンターボタンを押します

ENTER

終了時刻の「時」が入力されます。

7:40am– 8:40am

12. |◀◀ ▶▶| ボタンを押して、終了時刻の「分」を合わせます

例の場合は、15 にします

7:40am– 8:15am

13. エンターボタンを押します

ENTER

終了時刻の「分」が入力されます。

14. |◀◀ ▶▶| ボタンで録音する機器を選びます

FM 82.50→ MD ?
7:40am– 8:15am

MDに録音する場合は、MD、T-RS7（別売のカセットデッキ）に録音する場合は、"TAPE"を選択します。

15. エンターボタンを押します

ENTER

設定内容を表示し、" ⏲ **REC** "が点灯します。

16. スタンバイ/オン・ボタンを押して電源をオフにします

STANDBY/ON

途中で設定を中止にするには

停止(■)ボタンを押します

再度タイマー録音を設定するときは、はじめから設定し直してください。

タイマー録音中に録音を途中で止めるには

REC STOP

録音停止ボタンを押します

解除するには

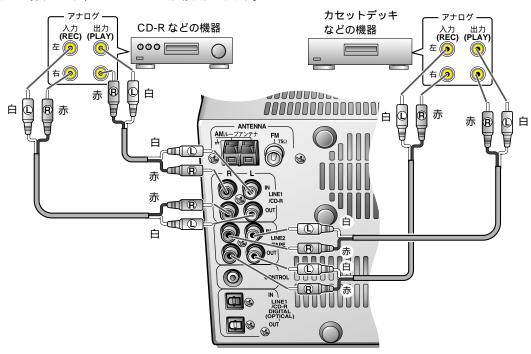
1. タイマーボタンを押します

TIMER

2. |◀◀ ▶▶| ボタンで "TIMER REC OFF ?" にします

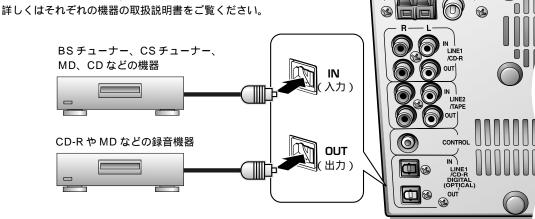
FM 82.50 MHz
→TIMER REC OFF?

3. エンターボタンを押します

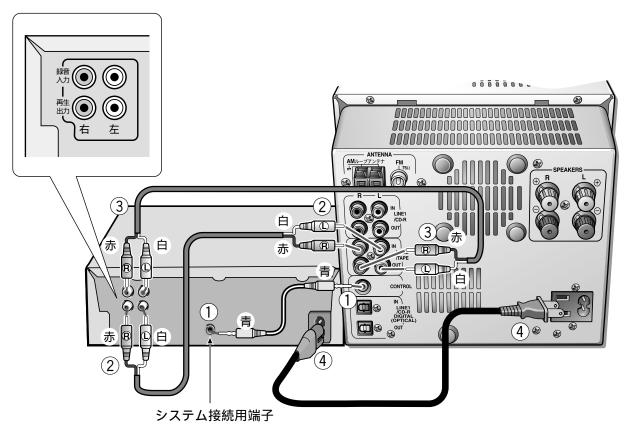
ENTER

外部機器の接続のしかた

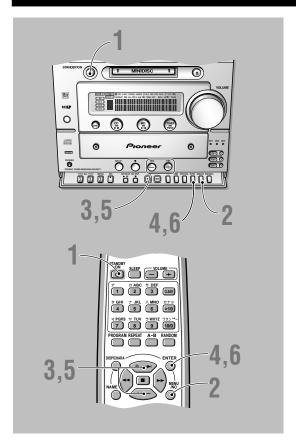
アナログ接続する場合

CD-R、MD、カセットデッキなどの機器を、本機に接続することができます。接続した機器を本機で聞いたり、本機のMDで録音したりすることもできます。また、接続した機器で本機のMDなどを録音することができます。
LINEボタンを押すごとに、LINE1とLINE2が切りかわります。

- 本機のLINE IN端子と接続機器の出力端子、本機のLINE OUT端子と接続機器の入力端子とを、それぞれ別売のピンプラグ付接続コードで接続します。
- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル接続する場合

BSチューナー、CSチューナー、MD、CDなどの機器を、本機にデジタルで接続することができます。接続した機器を本機で聞いたり、本機のMDで録音したりすることができます。また、接続したCD-Rなどで本機のCDやMDを録音することができます。
LINEボタンでLINE1を選んでから、34ページを参照してデジタル入力に設定します。
詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

- 別売の光ファイバーケーブルで、本機のデジタル（光）IN端子と接続機器の光デジタル出力端子、または、本機のデジタル（光）OUT端子と接続機器の光デジタル入力端子とを接続します。

T-RS7（別売のカセットデッキ）を接続する場合

T-RS7（別売のカセットデッキ）を接続します。
T-RS7 の取扱説明書も参照してください。

メモ

▼ T-RS7（別売のカセットデッキ）を接続すると、外部機器の選択は、LINE ボタンを押すごとに LINE1 と TAPE が切りかわるようになります。

① 本機のCONTROL端子と、T-RS7のシステム接続用端子とを、T-RS7に付属のシステムケーブル（青）で接続します。
② 本機のLINE2/TAPE のIN端子と、T-RS7の再生出力端子とを、T-RS7 に付属のピンプラグ付き接続コードで接続します。
③ 本機の LINE2/TAPE の OUT 端子と T-RS7 の録音入力端子とを、T-RS7 に付属のピンプラグ付き接続コードで接続します。
④ 最後にT-RS7に付属の電源コードを、T-RS7のACインレットに差し込んでから、本機のACアウトレットに接続します。

入力アッテネーターを設定する

LINE入力に接続した機器を本機で聞いたときや、アナログ録音して再生すると、歪みっぽく感じられる場合があります。これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンすると改善されることがあります。
LINE1とLINE2のそれぞれの入力に設定することができます。設定すると表示部に"ATT"と点灯します。

1. スタンバイ/オン・ボタンを押して電源をオフにします

STANDBY/ON

スタンバイ状態にします。

2. メニュー/ノーボタンを押します

MENU/NO

3. ⏮ ⏭ ボタンでLINE1の入力かLINE2の入力かを選びます

LINE1を選んだときの例

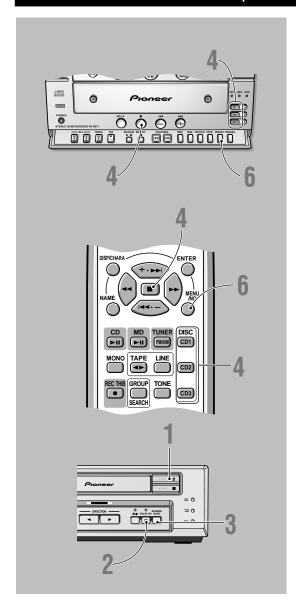
→LINE1 ATT ?

LINE2を選んだときの例

→LINE2 ATT ?

4. エンターボタンを押します

ENTER

5. ⏮ ⏭ ボタンで"ATT －6dB"か"ATT OFF"を選びます

"ATT －6dB"にすると、アッテネーター（減衰器）により、入力信号が－6dB（半分に）減衰します。

LINE1 ATT
→ATT -6dB ?

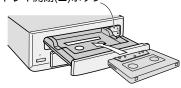
6. エンターボタンを押します

ENTER

ATTを設定すると、" ATT"と表示されます。

応用編

外部機器を使う

CDからテープ(T-RS7)に自動録音をする

録音のメニュー機能を使って、CDからカセットテープに簡単に自動録音をすることができます。
テープへの録音時に、曲の途中でテープのA面が終了してしまった場合は、その曲はテープのB面に曲のはじめから録音がされます。

1. T-RS7に、録音用テープをセットします

トレイ開閉(▲)ボタンを押して、カセットトレイに録音したいテープを入れます。録音はフォワード(►)方向から開始しますので、テープは必ず録音を始めたい面を上にして、図に示した向きに入れてください。

2. ドルビーボタンを押してドルビーを選びます

DOLBY NR

押すごとにドルビーのオンとオフが切りかわります。

3. リバースモードを選びます

REVERSE MODE

リバースモードボタンを押すごとに、次のように切りかわります。

：フォワード（►）方向の片面録音が終わると停止します。

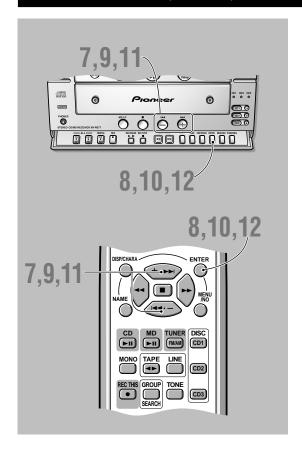
：フォワード（►）方向のあと、リバース（◄）方向へ録音します。

4. 録音したいCDをセットします

録音したい枚数分のCDをセットし、CD選択ボタンを押してから停止(■)ボタンを押します。

5. 好きな曲だけを録音する場合は、プログラム登録します

25ページを参照して、録音したい曲をプログラム登録しておきます。

6. メニュー/ノーボタンを押します

MENU/NO

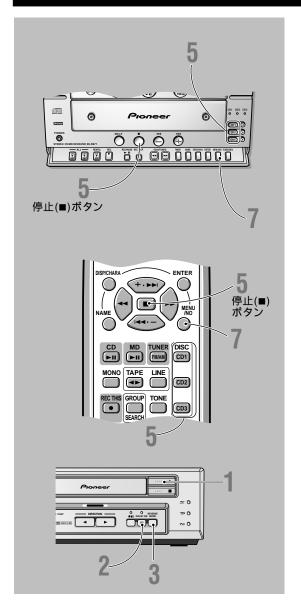
メモ

- ▼ 録音が終了したりカセットテープの録音可能時間が終了すると、"Finished"と表示されます。
- ▼ 録音を途中で止めたいときは、本機の停止(■)ボタンかT-RS7の停止(■)ボタンを押します。
- ▼ 手順9でRENTALまたはCD ALLに設定すると、3枚以上のCDを一度に録音することができます。この場合は、録音の終了したCDから順次、新しいCDに入れかえていくことで、録音が継続されます。
- ▼ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

7. ◀◀ ▶▶ ボタンで"REC MENU"を選びます

8. エンターボタンを押します

手順5でプログラムの設定がしてある場合は、そのまま手順11に進みます。

9. ◀◀ ▶▶ ボタンで録音したいCDを選びます

CD1	CD1を録音します
CD2	CD2を録音します
CD3	CD3を録音します
CD ALL	3枚のCDをすべて録音します
RENTAL	CD1〜3にセットされているCDの1曲目だけを録音します

CD1を選んだときの表示

10. エンターボタンを押します

11. ◀◀ ▶▶ ボタンで"TAPE"を選びます

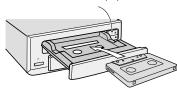
REC MENU
CD1 → TAPE ?

12. エンターボタンを押します

録音が開始されます。

応用編

外部機器を使う

CD からテープと MD に同時に自動録音をする

録音のメニュー機能を使って、CDからカセットテープとMDに同時に自動録音をすることができます。
テープへの録音時に、曲の途中でテープの A 面が終了してしまった場合は、その曲はテープの B 面に曲のはじめから録音がされます。(その場合でも MD は CD と同じように録音されます。)

1. T-RS7 に、録音用テープをセットします

トレイ開閉(▲)ボタンを押して、カセットトレイに録音したいテープを入れます。
録音はフォワード(►)方向から開始しますので、テープは必ず録音を始めたい面を上にして、図に示した向きに入れてください。

2. ドルビーボタンを押してドルビーを選びます

DOLBY NR

押すごとにドルビーのオンとオフが切りかわります。

3. リバースモードを選びます

REVERSE MODE

リバースモードボタンを押すごとに、次のように切りかわります。

:フォワード(►)方向の片面録音が終わると停止します。

:フォワード(►)方向のあと、リバース(◄)方向へ録音します。

4. 録音用 MD をセットします

5. 録音したい CD をセットします

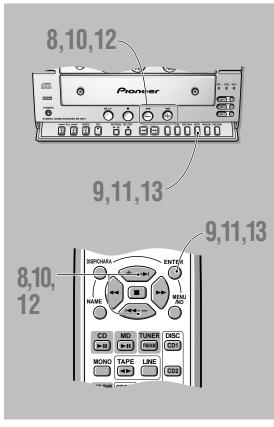
録音したい枚数分のCDをセットし、CD選択ボタンを押してから停止(■)ボタンを押します。

6. 好きな曲だけを録音する場合は、プログラム登録します

25ページを参照して、録音したい曲をプログラム登録しておきます。

7. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

メ モ

- ▼ MDに録音するときに、LP4またはLP2モード(19ページ参照)に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ 録音が終了したりカセットテープの録音可能時間が終了すると、"Finished" と表示されます。
- ▼ 録音を途中で止めたいときは、本機の停止(■)ボタンかT-RS7 の停止(■)ボタンを押します。
- ▼ 手順10でRENTALまたはCD ALLに設定すると、3枚以上の CD を一度に録音することができます。この場合は、録音の終了したCDから順次新しいCDに入れかえていくことで、録音が継続されます。

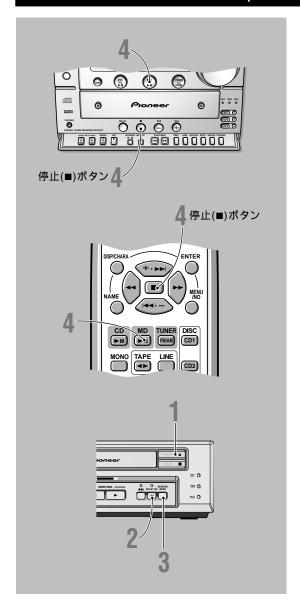
8. |◀◀ ▶▶| ボタンで"REC MENU"を選びます

9. エンターボタンを押します。

手順6でプログラムの設定がしてある場合は、そのまま手順12に進みます。

10. |◀◀ ▶▶| ボタンで録音したいCDを選びます

CD1、CD2、CD3、CD ALLを選んで録音すると、MDには自動的にグループ登録（52ページ）されます。

CD1	CD1を録音します
CD2	CD2を録音します
CD3	CD3を録音します
CD ALL	3枚のCDをすべて録音します
RENTAL	CD1～3にセットされているCDの1曲目だけを録音します

CD1を選んだときの表示

11. エンターボタンを押します

12. |◀◀ ▶▶| ボタンで"MD&TAPE"を選びます

REC MENU
CD1 →MD&TAPE?

13. エンターボタンを押します

録音が開始されます。

MD からテープ(T-RS 7)に自動録音をする

録音のメニュー機能を使って、MDからカセットテープに簡単に自動録音をすることができます。
テープへの録音時に、曲の途中でテープの A 面が終了してしまった場合は、その曲はテープの B 面に曲のはじめから録音がされます。

1. T-RS7 に、録音用テープをセットします

トレイ開閉(▲)ボタンを押して、カセットトレイに録音したいテープを入れます。
録音はフォワード(►)方向から開始しますので、テープは必ず録音を始めたい面を上にして、図に示した向きに入れてください。

2. ドルビーボタンを押してドルビーを選びます

DOLBY NR

押すごとにドルビーのオンとオフが切りかわります。

3. リバースモードを選びます

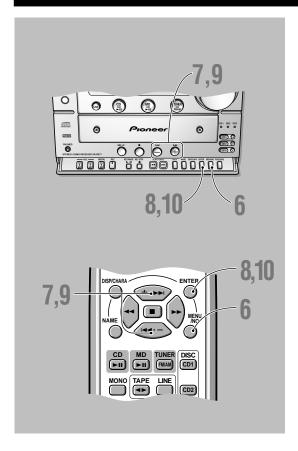
REVERSE MODE

リバースモードボタンを押すごとに、次のように切りかわります。

：フォワード（►）方向の片面録音が終わると停止します。

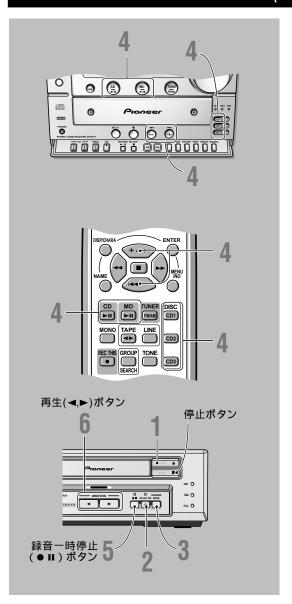
：フォワード（►）方向のあと、リバース（◄）方向へ録音します。

4. 録音したい MD をセットします

録音したい MD をセットし、MD ボタンを押してから停止(■)ボタンを押します。

メ モ

▼ 録音が終了したりカセットテープの録音可能時間が終了すると、"Finished" と表示されます。
▼ 録音を途中で止めたいときは、本機の停止(■)ボタンか T-RS7 の停止(■)ボタンを押します。

5. 好きな曲だけを録音する場合は、プログラム登録します

３０ページを参照して、録音したい曲をプログラム登録しておきます。
好きなグループだけを選んで録音する場合は、５６ページを参照してグループを選んでおきます。

6. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

7. ⏮ ⏭ ボタンで "REC MENU" を選びます

8. エンターボタンを押します

ENTER

9. ⏮ ⏭ ボタンで "TAPE" を選びます

REC MENU
MD → TAPE ?

10. エンターボタンを押します

ENTER

録音が開始されます。

CD や MD からテープ(T-RS7)にマニュアル録音をする

1. T-RS7 に、録音用テープをセットします

トレイ開閉(⏏)ボタンを押して、カセットトレイに録音したいテープを入れます。トレイにのせるとき、A 面を上にするとフォワード(►)が A 面で、リバース(◄)方向が B 面になります。

2. ドルビーボタンを押してドルビーを選びます

DOLBY NR

押すごとにドルビーのオンとオフが切りかわります。

3. リバースモードを選びます

REVERSE MODE

リバースモードボタンを押すごとに、次のように切りかわります。

：フォワード（►）方向の片面録音が終わると停止します。

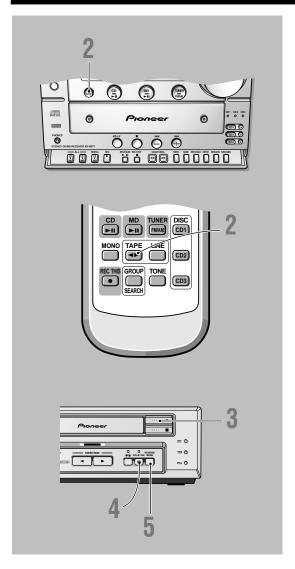
：フォワード（►）方向のあと、リバース（◄）方向へ録音します。

4. CD を録音する場合

録音したい枚数分の CD をセットし、CD 選択ボタンを押してから ⏮ ⏭ で録音したい曲を選び、CD ボタンを押して一時停止にします。

MD を録音する場合

録音したい MD をセットし、MD ボタンを押して，⏮ ⏭ で録音したい曲を選んでからもう一度 MD ボタンを押して一時停止にします。

5. 録音一時停止（● ıı）ボタンを押します

録音一時停止になります。

6. 再生(◄, ►)ボタンを押します

DIRECTION

► を押すとフォワード方向に録音を開始します。
◄ を押すとリバース方向に録音を開始します。

7. 手順 4 で選んだ CD または MD の演奏を開始します

メ モ

▼ 演奏を途中で止めたいときは、 本機の停止(■)ボタンを押します。
▼ 録音を一時停止したいときは、T-RS7 の録音一時停止（● ıı）ボタンを押します。
録音を再開するには、再生(◄, ►)ボタンを押します。
録音一時停止中に再生方向インジケーターの点滅しているボタンを押すと、録音一時停止前と同じ進行方向（同じ面）で録音を再開します。
再生方向インジケーターの消灯しているボタンを押すと、録音一時停止前と逆の方向（反対の面）で録音を再開します。
▼ 録音を途中で止めたいときは、T-RS7 の停止ボタンを押します。

テープ(T-RS7)から MD に自動録音をする

録音のメニュー機能を使って、カセットテープから MD に簡単に自動録音をすることができます。

1. 録音用 MD をセットします

2. LINEボタンを押して、TAPEにします

LINE

TAPE

リモコンの場合は、TAPE ボタンを押します。

3. T-RS7 にテープをセットします

トレイ開閉(▲)ボタンを押して、カセットトレイにテープをセットします。
テープの再生方向は、►方向からとなりますので、再生したい面を上にし、図に示した向きにテープを入れてください。

4. ドルビーボタンを押してドルビーを選びます

DOLBY NR

押すごとにドルビーのオンとオフが切りかわります。録音時と同じドルビー NR を選んでください。

5. リバースモードを選びます

REVERSE MODE

リバースモードボタンを押すごとに、次のように切りかわります。

片面再生が終わると停止します。

リバース（◄）方向の再生が終わると停止します。

最大16面まで繰り返し再生します。

応用編

外部機器を使う

メ モ

- ▼ この方法で録音するときに、LP4 または LP2 モード（19 ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ 録音が終了したり MD の録音可能時間が終了すると、"Finished" と表示されます。
- ▼ 録音を途中で止めたいときは、本機の停止(■)ボタンか T-RS7 の停止(■)ボタンを押します。

6. **メニュー / ノーボタンを押します**

7. **⏮ ⏭ ボタンで"REC MENU"を選びます**

8. **エンターボタンを押します。**

9. **⏮ ⏭ ボタンで"TAPE➡MD"を選びます**

10. **エンターボタンを押します。**

録音が開始されます。

テープや外部機器を MD にマニュアル録音する

MD にマニュアル操作で録音をします。
ただしこの録音では、2 倍速録音を設定することができません。

1. 録音用 MD をセットします

2. T-RS7（別売のカセットデッキ）を録音する場合

録音したいテープをセットし、LINEボタンを押して"TAPE"にします。

LINE

外部機器を録音する場合

LINE ボタンを押して、LINE1 か LINE2 を選択してから、録音する外部機器の演奏の準備をします。
LINE1 を選んだ場合は、34 ページを参照してデジタル入力とアナログ入力の設定を行います。

3. 録音ボタンを押します

REC

"REC"が点滅し、録音一時停止になります。

4. 録音レベルを調整します

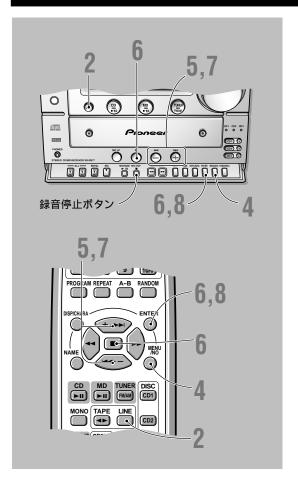
録音レベルを調整するときは36ページを参照して、録音レベルを調整します。

5. 録音 / 一時停止（▶ II）ボタンを押します

REC/PAUSE ▶ II

録音を開始します。
"REC" が点灯にかわります。

6. 録音する機器の演奏を開始します

手動で曲番号をつける

録音中に曲番号を更新したい場所で、録音ボタンを押します

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4 または LP2 モード（19 ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ 録音を途中で止めたいときは、録音停止ボタンを押します。

外部機器の 1 曲だけを MD にシンクロ録音する

一曲シンクロ録音といいます。
LINE1やLINE2の入力端子に接続した機器から一曲ずつ編集録音するときに便利な機能です。
ただしこの録音では、2 倍速録音はできません。

1. 録音用 MD をセットします

2. LINE ボタンを押して、録音したい外部機器の LINE 入力にします

3. LINE1 を選んだ場合、デジタル入力かアナログ入力を選びます

34 ページを参照して設定します。

4. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

5. ⏮ ⏭ ボタンで "MD SYNC REC" を選びます

LINE1/CD-R
→MD SYNC REC ?

6. エンターボタンを押します

ENTER

中止する場合は、停止(■)ボタンを押します。

7. ⏮ ⏭ ボタンで "1 TRK SYNC" を選びます

→ 1 TRK SYNC ?

8. エンターボタンを押します

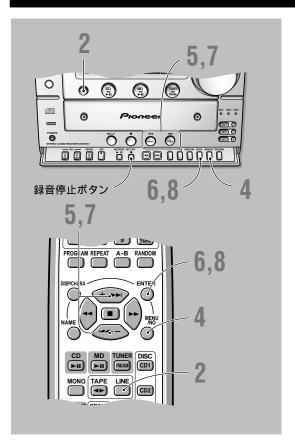
ENTER

"SYNC-1" は点灯、"REC" は点滅します。

9. 外部機器の演奏を開始します

演奏が始まると、"REC" が点灯し MD の録音もスタートします。
1 曲シンクロ録音は、4 秒以上の無音部分があると録音を終了します。

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4 または LP2 モード（19 ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ 録音を途中で止めたいときは、録音停止ボタンを押します。
▼ 録音レベルを調整する場合は、36 ページを参照してください。

注 意

◆ 外部機器からの音声がクラシック音楽や会話など(音量が小さい、無音部分が続く、または無録音部分にノイズがある音声など)のときは曲番号の更新が正しくできないことがあります。

外部機器の全曲を MD にシンクロ録音する

全曲シンクロ録音といいます。
LINE1やLINE2の入力端子に接続した機器の全曲を録音するときに便利な機能です。
ただしこの録音では、2 倍速録音はできません。

1. 録音用 MD をセットします

2. LINEボタンを押して、録音したい外部機器の LINE 入力にします

LINE

3. LINE1 を選んだ場合、デジタル入力かアナログ入力を選びます

34 ページを参照して設定します。

4. メニュー / ノーボタンを押します

MENU/NO

5. ⏮ ⏭ ボタンで "MD SYNC REC" を選びます

LINE1
→MD SYNC REC ?

6. エンターボタンを押します

ENTER

中止する場合は、停止(■)ボタンを押します。

7. ⏮ ⏭ ボタンで"ALL SYNC?"を選びます

→ ALL SYNC ?

8. エンターボタンを押します

ENTER

"SYNC" は点灯、"REC" は点滅します。

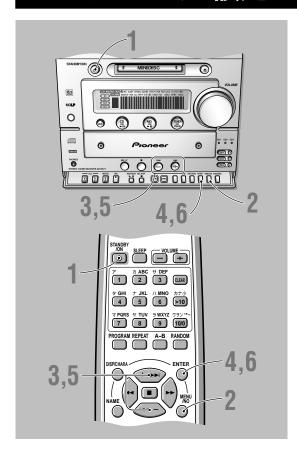
9. 外部機器の演奏を開始します

演奏が始まると、"REC" が点灯し MD の録音もスタートします。
全曲シンクロ録音は、4 秒間の無音部分があると録音一時停止状態になり、再び曲が始まると曲の音に反応して録音を再開します。
終了するときは、録音停止ボタンを押してください。

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4 または LP2 モード（19 ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ 録音を途中で止めたいときは、録音停止ボタンを押します。
▼ 録音レベルを調整する場合は、36ページを参照してください。

注 意

◆ 外部機器からの音声がクラシック音楽や会話など(音量が小さい、無音部分が続く、または無録音部分にノイズがある音声など)のときは曲番号の更新が正しくできないことがあります。

ボリュームの設定をかえる

最小音量値から最大音量値までのボリュームの変化ステップ量が40ステップのノーマルポジションと、90ステップのファインポジションとがあります。
ファインポジションにすると、小さな音量のときに微調整がしやすくなります。

1. スタンバイ/オン・ボタンを押して電源をオフにします

STANDBY/ON

スタンバイ状態にします。

2. メニュー / ノーボタンを押します

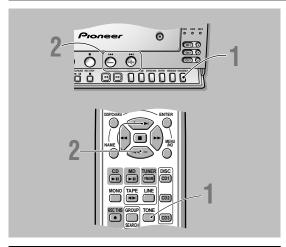
MENU/NO

3. ⏮ ⏭ ボタンで"VOLUME MODE"にします

4. エンターボタンを押します

ENTER

5. ⏮ ⏭ ボタンでボリュームの設定を選びます

ノーマルポジションのときは、"NORMAL"を選びます。

ファインポジションのときは、"FINE"を選びます。

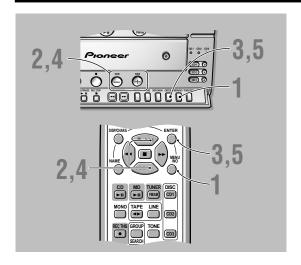
6. エンターボタンを押します

ENTER

音質をかえる

注 意

◆ 録音中にも、聞いている音の音質は調整できますが、録音される音の音質は変わりません。

演奏する曲の高音部と低音部の音質を、それぞれ調整することができます。

1. トーン（デモ）ボタンを押して、低音部か高音部かを選びます

TONE(DEMO)

押すごとに、以下のように切りかわります。

低音部 BASS 0

⬍

高音部 TREBLE 0

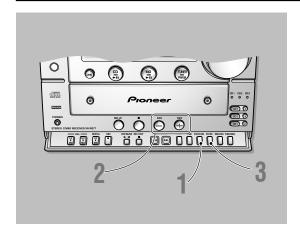
2. ⏮ ⏭ ボタンで音質のレベルを調整します

調整範囲は、±５までです。

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて表示の明るさを、明るい設定（BRIGHT）と暗い設定（DARK）に切りかえることができます。ディマー機能といいます。

1. MENU/NO **メニュー / ノーボタンを押します**

2. **⏮ ⏭ ボタンで"DIMMER"にします**

FM 82.50 MHz
→DIMMER ?

3. ENTER **エンターボタンを押します**

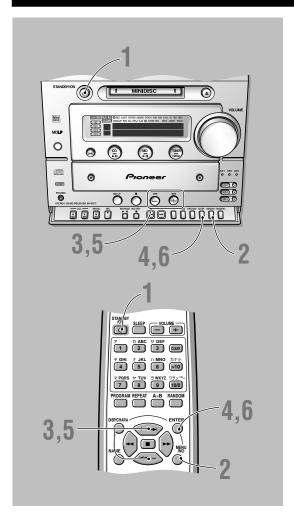
4. **⏮ ⏭ ボタンでお好みの明るさを選びます**

明るくするときは、"BRIGHT" を選びます。

→BRIGHT ?

暗くするときは、"DARK" を選びます。

5. ENTER **エンターボタンを押します**

表示文字の濃淡をかえる

1. DISP/CHARA **本体のディスプレイ / キャラクターボタンを 3 秒以上押します**

2. **⏮ ⏭ ボタンでお好みの濃淡を選びます**

数字が大きくなるほど、表示文字は濃く表示されます。可変できる範囲は、1 〜 5 までです。

CONTRAST
LEVEL 3

3. ENTER **エンターボタンを押します**

時計の表示モードをかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切りかえることができます。初期値は、12時間表示になっています。

1. スタンバイ/オン・ボタンを押して電源をオフにします

STANDBY/ON

スタンバイ状態にします。

2. メニュー/ノーボタンを押します

MENU/NO

3. ⏮ ⏭ ボタンで"CLOCK 12/24h"にします

→CLOCK 12/24h ?

4. エンターボタンを押します

ENTER

5. ⏮ ⏭ ボタンでお好きな表示を選択します

- 12時間表示

→12hour ?

- 24時間表示

→24hour ?

6. エンターボタンを押します

ENTER

応用編

その他

文字入力パターン

DISP/CHARA を押して文字入力パターンを切りかえます。

アルファベット大文字モード

各キーは押すごとに以下のように入力文字がかわります。

キー	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
ア 1	無し					
カ ABC 2	A	B	C	戻る		
サ DEF 3	D	E	F	戻る		
タ GHI 4	G	H	I	戻る		
ナ JKL 5	J	K	L	戻る		
ハ MNO 6	M	N	O	戻る		
マ PQRS 7	P	Q	R	S	戻る	
ヤ TUV 8	T	U	V	戻る		
ラ WXYZ 9	W	X	Y	Z	戻る	
ワヲン゛゜ー 10/0	空白(スペース)	.	,	`	/	戻る
カナ小 >10	無し					

アルファベット小文字モード

各キーは押すごとに以下のように入力文字がかわります。

キー	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
ア 1	無し					
カ ABC 2	a	b	c	戻る		
サ DEF 3	d	e	f	戻る		
タ GHI 4	g	h	i	戻る		
ナ JKL 5	j	k	l	戻る		
ハ MNO 6	m	n	o	戻る		
マ PQRS 7	p	q	r	s	戻る	
ヤ TUV 8	t	u	v	戻る		
ラ WXYZ 9	w	x	y	z	戻る	
ワヲン゛゜ー 10/0	空白(スペース)	.	,	`	/	戻る
カナ小 >10	無し					

数字モード

各キーは押すごとに以下のように入力文字がかわります。

キー	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
ア 1	1					
カ ABC 2	2					
サ DEF 3	3					
タ GHI 4	4					
ナ JKL 5	5					
ハ MNO 6	6					
マ PQRS 7	7					
ヤ TUV 8	8					
ラ WXYZ 9	9					
ワヲン゛゜ー 10/0	0	空白(スペース)	!	"	#	$
	%	&	'	(	)	*
	+	,	-	.	/	:
	;	<	=	>	?	@
	_	`	戻る			
カナ小 >10	無し					

カナモード

各キーは押すごとに以下のように入力文字がかわります。

キー	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
ア 1	ア	イ	ウ	エ	オ	戻る
カ ABC 2	カ	キ	ク	ケ	コ	戻る
サ DEF 3	サ	シ	ス	セ	ソ	戻る
タ GHI 4	タ	チ	ツ	テ	ト	戻る
ナ JKL 5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	戻る
ハ MNO 6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	戻る
マ PQRS 7	マ	ミ	ム	メ	モ	戻る
ヤ TUV 8	ヤ	ユ	ヨ	戻る		
ラ WXYZ 9	ラ	リ	ル	レ	ロ	戻る
ワヲン゛゜ー 10/0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ー
	戻る					
カナ小 >10	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	
	ャ	ュ	ョ	ッ	空白(スペース)	戻る

文字入力パターン

ネームリスト一覧	
Best of	Remix
Classical	Rock
Copy	Single
Dance	Soft Rock
Favorite	Solo
Hard Rock	Soul
Hip Hop	Studio
Hit Songs	Top
House	Version
J－pop	Vocal
Japanese	アルバム
Jazz	アーティスト
Master	エアーチェック
Metal	オキニイリ
Music	オリジナル
New Age	カラオケ
New Wave	クラブ
No.	コレクション
Oldies	コンサート
Pops	サウンドトラック
Private	バンド
Rap	ヘンシュウ
Rave	ベストヒット
Recorder	ミュージック
Reggae	ライブ

ネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）：
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.,'/
□（空白）

アルファベット（小文字）：

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz.,'/
□（空白）

数字、記号：
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! ” # $ % & ’ ( ) ＊
+ , ー . / : ; < = > ? @ _ ' □（空白）

カタカナ：
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナ
ニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレ
ロワヲンァィゥェォャュョッ゛゜ー□（空白）

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	症状	原因と思われること	処置
全てに共通	音がでない。	●電源プラグがはずれている。 ●すべてのコードが完全に接続されていない。 ●入力切換が正しく選択されていない。	●電源プラグを正しく接続する。 ●接続のしかたを参照して正しく接続する。（P.6～8、69～70参照） ●聞きたい機器を選択する。
	音量を調整しても音がなかなか小さくならない、または大きくならない。	●ボリューム設定が“ FINE ”になっている。	●ボリューム設定を“ NORLMAL ”にする。（P.84参照）
	LINE1、2に接続した機器からの音がひずむ。	●接続した機器からの出力レベルが大きい。	●入力アッテネーターを"ATT －6dB"にする。（P.71参照）
CD関係	再生ボタンを押しても演奏が始まらない。あるいはディスクが出てくる。	●ディスクの裏表を逆にセットしている。 ●ディスクに汚れやくもりなどがある。 ●ディスクに大きなキズやソリなどがある。	●ディスクのレーベル面（印刷のある面）を上にし、正しくセットする。 ●ディスクをクリーニングする。（P.27参照） ●ディスクを交換する。
	音が出ない。	●入力切換がCDになっていない。 ●一時停止状態になっている。	●CDボタンを押す。 ●CDボタンを押す。
	CDトレイを閉めても自動的に開いてしまう。	●ディスクが正しくセットされていない。 ●2枚以上のディスクを重ねてセットしている。	●ディスクを正しくセットする。（P.11参照） ●ディスクをいったん取り出し、再度演奏したいディスクを1枚だけCDトレイにセットする。
	電源を切った後に、機械の動作音がする。	●本機を輸送用の状態にするための動作音で、異常ではありません。	●表示部バックライトが消灯するまで、そのまま待つ。
	CDトレイが小刻みに動く。	●本機がメカニズムの状態を確認するためで、異常ではありません。	●終了するまで、そのまま待つ。
	“ E-1 ”が表示される。	●ディスクがトレイに正しくセットされていない。	●ディスクを正しくセットし直す。また、異物がディスクやトレイに付着していてないか確認したあと、電源を入れ直してください。
	“ E-2 ”が表示される。	●機構部の動作エラー。	●トレイに異物が入っていないか確認する。
放送関係	放送が聞こえない、聞き苦しい。	●アンテナが接続されていない。 ●アンテナの向き、位置が悪い。 ●電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用している。	●アンテナを正しく接続する。（P.6～8参照） ●アンテナの向きや位置を調整する。 ●雑音を発生させる機器の使用をやめる。
	放送がステレオなのにステレオにならない。	●表示部のモノインジケータが点灯している。	●リモコンのモノボタンを押してモノインジケーターを消灯する。（P.20参照）

MD関係	録音ができない。	●MDが誤消去防止状態になっている。 ●再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしている。 ●DISC FULL（P.92参照）になっている。 ●自動録音の時に、"Canceled"と表示される。	●誤消去防止ツマミを閉じる。 ●録音できるMDに交換する。 ●新しい録音用MDと交換する。 ●ディスクがセットされていない。セットしてから録音をする。
	モノラルで録音されてしまう。	●モノラル長時間モードになっている。	●長時間録音モードを通常のステレオ録音にする。（P.19参照）
	MDを入れても“ NO DISC ”や“ ERROR ”が表示される。	●ディスクにキズが付いている。	●新しいMDに交換する。
	再生音がとぎれる。	●振動の多い不安定な場所で使用している。 ●結露現象が起きている。（P.93参照）	●平らな安定した場所に移し変える。 ●１時間ほど放置してから使用する。
	録音したときに音が歪む。	●LINE入力信号が大きすぎる。 ●録音レベルが大きすぎる。	●入力アッテネーターを"ATT －6dB"にする。（P.71参照） ●録音レベルを小さくする。（P.36参照）
	録音したときに音が小さい。	●入力アッテネーターが"ATT －6dB"になっている。 ●録音レベルが小さすぎる。	●入力アッテネーターを"ATT OFF"にする。（P.71参照） ●録音レベルを大きくする。（P.36参照）
	グループ機能が使えない。	●グループディスクと認識されていない、またはグループ機能がない機器でディスク名を変更した。	●ディスク名を消去してグループを登録しなおす。（P.39～42、53 参照）
その他	タイマーが動作しない。	●現在時刻の設定がされていない。	●現在時刻を設定する。（P.10参照）
	リモコンがきかない。	●リモコンの電池がなくなっている。 ●蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	●新しい電池に換える。（P.9参照） ●蛍光灯をリモコン受光部から離す。
	電源が切れて、"E-0"と表示される。	●保護回路が働いている。	●ただちに電源プラグを抜き、スピーカーコードの⊕と⊖が接触していないか確認する。

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

MD でこんな表示が出たときは

表　示	意　味	このようにしてください
BLANK DISC	音楽が何も記録されていない。	再生するときは、録音されたMDと取りかえる。
CAN'T COPY	デジタルコピー禁止のものから録音しようとした。	デジタルコピー可能なもの（一般のCDなど）に換えるか、アナログ入力にする。（表示が消えた場合は、そのままお使いいただけます。）
CAN'T EDIT	編集できない。	曲の停止位置を変えて、編集し直す。またはディスク名／曲名／グループ名を短くする。
CAN'T x2 COPY	HCMSで管理されている74分間に同じディスクをふたたび2倍速録音しようとした。	通常の1倍速で録音してください。 HCMSで管理されている74分後に2倍速録音ができるようになります。
CAN'T REC	ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	録音をやり直すか、MDをかえてみる。 オールイレースをし、録音をやり直す。
DEFECT	ディスクにキズがあるため録音がとぎれる。	他の録音用MDと取りかえる。
DIN UNLOCK	デジタル入力のときに、正常な信号が入力されていない。	デジタル入力端子に正しく接続されているかを確認する。
DISC ER	ディスクにキズがついている。 TOCがMDに書き込まれていないか、データに異常がある。	MDをもう一度入れ直す。 他のMDと取りかえる。
DISC FULL	MDに録音できる空きがない。	オールイレースをし、録音をやり直す。 他の録音用MDと取りかえる。
EEPROM ERR	EEPROMのデータに異常がある。	ACプラグを抜いて再度つないでみる。
FOCUS ERR	フォーカスが合わない。	MDをもう一度入れ直す。 他のMDと取り替える
MECH ER	MDが正しく働いていない。	ACプラグを抜いて再度つないでみる。
MEM. FULL	録音中にDRAMの容量がいっぱいになった。	録音をやり直す。
NAME FULL	ディスク、曲名の合計が1700文字をこえている。	ディスク名／曲名／グループ名を短くする。
NO DISC	MDが入っていない。 MDのデータが読めない。	MDを入れる。 MDをもう一度入れ直す。
NOT AUDIO	オーディオ用でないデータが記録されている。	MDを取りかえる。
Playback MD	再生専用MDに録音や編集をしようとした。	録音用MDと取りかえる。
POINT ERROR	A-B編集またはA-BリピートでのA点、B点の指定がおかしい。	A点、B点の指定および微調整をやり直す。
PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止状態をもとに戻す
TEMP OVER	温度が高くなりすぎた。	電源を切ってしばらく休ませる。
TOC FULL	曲番や文字情報（ディスク名／曲名など）を登録する空きがない。	他の録音用MDと取りかえる。 オールイレースをし、録音をやり直す。
TR. PROTECT	該当するトラックにライトプロテクトがかかっている。	MDをとりかえる。
UTOC ER R UTOC ER	記録されているTOC情報がMDの規格に合っていなかったり、読めない。	他のMDと取りかえる。 オールイレースをし、録音をやり直す。
UTOC ER W	ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。	電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。（書き込み中はショックを与えないでください。）
?DISC TOC ERR	データに異常がある。規格外のMDである。 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていなかったり読めない。	他のMDと取りかえる。

日ごろのお手入れと取り扱いの注意

CD レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCD レンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には１時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

設置する場所

組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。

次のような場所には設置しないでください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ほこりの多い所
- 油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

通気孔をふさがない

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。通気孔はふさがないでください。風通しの悪い所に入れたり、毛足の長い敷物やベッド、ソファの上などへ置いたりしないでください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

90～92ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：CD/MD ミニコンポーネントシステム
- 型番：X-RS77（X-RS77PRO）
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

仕様

レシーバー部

アンプ部

実用最大出力（EIAJ 4 Ω）................................ 25W + 25W
入力端子 : LINE1、LINE2（感度 / インピーダンス）
.... 330mV/22kΩ 、620mV/26kΩ (ATT ON 時)
出力端子 : LINE1、LINE2（感度 / インピーダンス）
.... 200mV/2kΩ
周波数特性 : CD、MD、LINE1、LINE2、TUNER
.... 15Hz～130kHz +0、－3dB
トーンコントロール
BASS .... ± 10dB (80Hz)
TREBLE .... ± 10dB (10kHz)

FM チューナー部

受信周波数 .... 76.0～108 MHz
アンテナ .... 75 Ω不平衡型

AM チューナー部

受信周波数
.... 522 kHz～1,629 kHz（9 kHz ステップ）
.... 530 kHz～1,700 kHz（10 kHz ステップ）
アンテナ .... ループアンテナ（付属）

コンパクトディスクプレイヤー部

型式 .... コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク .... CD、CD-R、CD-RW
チャンネル数 .... 2 チャンネル（ステレオ）
周波数特性 .... 4 Hz～20 kHz
S/N .... 97 dB(EIAJ)
歪率 .... 0.004 %(EIAJ)
ダイナミックレンジ .... 94 dB(EIAJ)

ミニディスク部

型式 .... ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト式
再生方式 .... 非接触光学式
サンプリング周波数 .... 44.1 kHz
再生 S/N .... 99 dB(EIAJ
再生ダイナミックレンジ .... 94 dB(EIAJ)

電源部・その他

電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力（電気用品取締法）.. 54 W
待機時消費電力 .... 0.35 W
外形寸法...................... 210（幅）×168（高さ）×389（奥行）mm
本体質量 .... 5.5 kg

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

スピーカー部

S-RS77-LR

型式 .... バスレフ式ブックシェルフ型、防磁設計(EIAJ)*
使用スピーカー（2 ウェイ方式）
低音用（ウーファー）............................... 13 cm（コーン型）
高音用（トゥイーター）................... 26 mm（セミドーム型）
公称インピーダンス .... 4 Ω
再生周波数帯域 .... 45～60,000 Hz
最大入力 .... 80 W（EIAJ）
外形寸法................. 165（幅）×280（高さ）×270（奥行）mm
本体質量 .... 4.0 kg

S-RS77P-LR

型式 .... バスレフ式ブックシェルフ型、低磁気漏洩設計
使用スピーカー（2 ウェイ方式）
低音用（ウーファー）............................... 13 cm（コーン型）
高音用（トゥイーター）................... 26 mm（セミドーム型）
公称インピーダンス .... 4 Ω
再生周波数帯域 .... 43～60,000 Hz
最大入力 .... 80 W（EIAJ）
外形寸法................. 165（幅）×280（高さ）×270（奥行）mm
本体質量 .... 4.0 kg

＊「防磁設計（EIAJ）」とは、（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

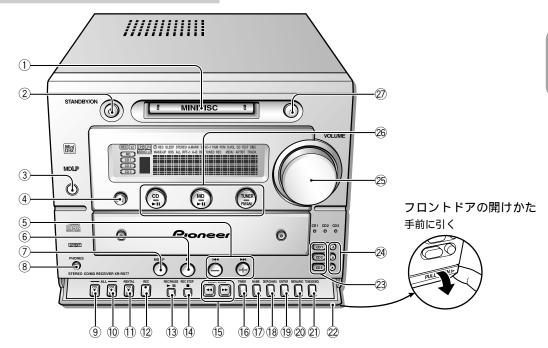
付属品

保証書 1
取扱説明書 1
安全上のご注意 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
FM 簡易アンテナ 1
AM ループアンテナ 1
リモートコントロールユニット（リモコン）............................ 1
単 3 形乾電池（R6P）.. 2
電源コード 1
スピーカーコード（スピーカーに付属）................................ 2

●仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
お問合わせ先：社団法人 私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
東 京オペラシティタワー 11F
電話（03 ）5353 －0336
FAX .（03 ）5353 －0337

ステップ周波数を切りかえる

国内では通常、FM/AM 放送を受信するときの周波数ステップを、FM 放送は 50kHz ごとに、AM 放送は 9kHz ごとに設定されています。本機ではこのステップ周波数を、FM 放送は 100kHz ステップに、AM 放送は 10kHz ステップに変えることができます。

① 電源がオフのとき（スタンバイ状態）に、メニュー / ノーボタンを押します
② ⏮ ⏭ ボタンを押して、"AM 9k/10k" を選びます
③ エンターボタンを押します
④ ⏮ ⏭ ボタンで "10kHz STEP" を選びます
⑤ エンターボタンを押します

なお、AM 放送を 10kHz ステップに変更すると、国内のラジオ放送を受信することができなくなります。
9kHz に戻す時は、手順④ で、"9kHz STEP" を選びます。

各部のなまえ

本体部

① **MD挿入部**

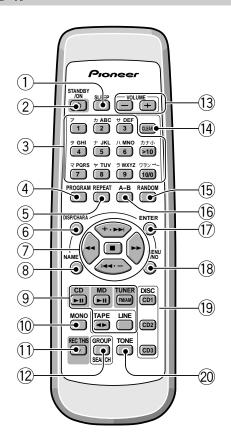
② **スタンバイ/オン・ボタン**
押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部のバックライトが消灯します。

③ **リモコン受光部**

④ **LINEボタン**
本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。押すごとに、LINE1 と LINE2 が切りかわります。

⑤ **|◀◀ ▶▶| ボタン**
CDやMDの曲の頭出し、ラジオのステーションの選択に使用します。または、メニューの操作にも使用します。

⑥ **停止(■)ボタン**

⑦ **MDLPボタン（P.19）**

⑧ **ヘッドホン端子**
市販のヘッドホンを接続します。
インピーダンス 16 Ω～50 Ω（推奨 32 Ω）で、直径 3.5 Φ ステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

⑨ **全曲ワンタッチ録音ボタン（P.17）**
CD1 ～ 3 にセットした CD をまるごと MD に録音します。また、CD1 ～ 3 にセットした CD をプログラム登録している場合は、プログラムした曲だけを MD に録音します。

⑩ **CD1ワンタッチ録音ボタン（P.16）**
CD1 にセットした CD をまるごと MD に録音します。

⑪ **レンタルワンタッチ録音ボタン（P.18）**
CD1～3 にセットした CD の 1 曲目だけを MD に録音していきます。

⑫ **録音(●)ボタン（P.32, 33, 36, 81）**

⑬ **録音/一時停止(▶ ⅠⅠ)ボタン（P.32, 81）**

⑭ **録音停止ボタン（P.31, 32, 68, 81～83）**

⑮ **◀◀ ▶▶ ボタン（P.12, 15, 20, 42, 62）**
CD や MD の早送り / 早戻し、ラジオのチューニングに使用します。

⑯ **タイマーボタン（P.10, 65, 67）**

⑰ **ネームボタン（P.39, 62）**

⑱ **ディスプレイ/キャラクターボタン（P.26, 40, 58, 62, 86）**

⑲ **エンターボタン**

⑳ **メニュー/ノーボタン**

㉑ **トーン（デモ）ボタン（P.85）**

㉒ **フロントドア**
PULL OPENの部分を手前に引くとドアが開きます。（上図参照）

㉓ **CD選択ボタン（P.11, 12）**

㉔ **CD開閉ボタン（P.11, 16～18）**

㉕ **ボリューム**
右に回すと音量が大きくなり､左に回すと音量が小さくなります。

㉖ **CDボタン（P.11）**
CD を演奏したり一時停止するときに使用します。
MDボタン（P.14）
MD を演奏したり一時停止するときに使用します。
チューナーボタン（P.20, 21, 23）
ラジオを聞いたり、FM局と AM局を切りかえるときに使用します。

㉗ **MD取り出し(⏏)ボタン（P.14）**

各部のなまえ

リモコン

リモコン操作範囲

リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部との距離が約7m、角度が左右30度までです。

- 本体にあるリモコン受光部に、リモコン前部を向けて操作してください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

① **スリープボタン（P.64）**

② **スタンバイ/オン・ボタン**
押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部のバックライトが消灯します。

③ **文字/数字ボタン(P.12, 15, 23, 25, 30, 41, 63)**

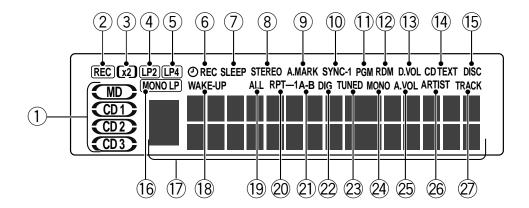
④ **プログラムボタン（P.25, 30）**

⑤ **リピートボタン（P.24, 28）**

⑥ **ディスプレイ/キャラクターボタン（P.26, 41, 58, 63）**

⑦ **◀◀ ボタン（P.12, 15, 20）**
▶▶ ボタン（P.12, 15, 20）
▶▶| (+)ボタン
|◀◀ (−)ボタン
停止(■)ボタン

⑧ **ネームボタン（P.40, 63）**

⑨ **CDボタン（P.11）**
3枚CDチェンジャーで、CDを演奏したり一時停止するときに使用します。
MDボタン（P.14）
MDを演奏したり一時停止するときに使用します。
チューナーボタン（P.20, 21, 23）
ラジオを聞いたり、FM局とAM局を切りかえるときに使用します。
TAPEボタン
本機に接続したT-RS7（別売のカセットデッキ）を演奏するときに使用します。
LINEボタン（P.34）
本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。押すごとに、LINE1とLINE2が切りかわります。

⑩ **モノボタン（P.20）**

⑪ **REC THISボタン（P.18）**

⑫ **グループサーチボタン（P.56）**

⑬ **ボリューム**
[+] ボタンを押すと音量が大きくなり、[−] ボタンを押すと音量が小さくなります。

⑭ **クリアーボタン（P.25, 30）**

⑮ **ランダムボタン（P.24, 28）**

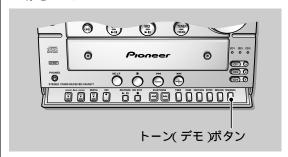
⑯ **A-Bボタン（P.29, 45, 50）**

⑰ **エンターボタン**

⑱ **メニュー/ノーボタン**

⑲ **CD選択ボタン（P.11, 12）**

⑳ **トーンボタン（P.85）**

表示部

① CDやMDの状態を表します。
CDやMDがセットされていないことを本機が判別すると、CD1やMDの文字が消灯します。また、そのディスクが選択されている場合は、 が点灯します。

② MDの録音中は点灯し、録音一時停止中は点滅します。

③ 3枚CDチェンジャーからの録音において、2倍速録音に設定されているときは、x2 と点灯します。実際に2倍速録音をしているときは、x2 と点灯します。

④ MDのステレオ長時間録音（LP2モード）設定時に点灯します。

⑤ MDのステレオ長時間録音（LP4モード）設定時に点灯します。

⑥ 録音タイマー設定時に点灯します。また、録音タイマー動作時に点滅します。

⑦ スリープタイマー設定時に点灯します。

⑧ FM放送でステレオ受信しているときに点灯します。

⑨ MDの録音において、オートマーク機能が設定されていると点灯します。

⑩ 全曲シンクロ録音時は**SYNC**と点灯し、1曲シンクロ録音時は**SYNC-1**と点灯します。

⑪ プログラム設定時、または演奏時に点灯します。

⑫ ランダム演奏時に点灯します。

⑬ デジタル録音レベルを0dB以外に設定すると点灯します。

⑭ CD TEXT対応のディスクをセットすると点灯します。

⑮ ディスクネームを表示中に点灯します。

⑯ MDのモノラル長時間録音設定時に点灯します。

⑰ 文字や数字を表示したり、外部機器の入力レベルを表示したりします。

⑱ 目覚ましタイマー設定時に点灯します。また、目覚ましタイマー動作時に点滅します。

⑲ CDにおいて、オールディスクプレイモードが設定されていると点灯します。
また、MDにおいて、オールトラックプレイモードが設定されていると点灯します。

⑳ 全曲リピート演奏時にはRPTと点灯し、1曲リピート演奏時は、RPT-1と点灯します。

㉑ MDのA-Bリピート演奏中やA-Bコンバイン、A-Bイレースの設定中に点灯します。

㉒ 録音の設定において、デジタル録音が設定されていると点灯します。

㉓ FM/AM放送受信時に点灯します。

㉔ FM放送を受信しているときにリモコンのモノボタンを押すと点灯します。

㉕ アナログ録音レベルを0dB以外に設定すると点灯します。

㉖ アーティストネームを表示中に点灯します。

㉗ トラックネームを表示中に点灯します。

デモ表示について

表示部に自動的にいろいろな表示が行われることを、デモ表示といいます。以下のケースのときにデモ表示は行われます。

- 電源プラグをコンセントに差し込んだとき
- CD、MDの演奏や録音が終了して５分以上何も操作をしないとき
- 停電したあと

注 意

◆ デモ表示の解除をセットした場合でも、停電や電源プラグを抜いた状態で12時間以上放置しますと、再度電源プラグをコンセントに差した時にデモモードを表示する場合があります。

デモ表示を解除するには

1 電源をオフにします
2 本体のトーン（デモ）ボタンを約３秒間押しつづけます
デモモードを表示します。
3 本体のトーン（デモ）ボタンを約３秒間押しつづけます
デモモードが解除されます。

デモ表示を一時的に解除するには

1 トーン（デモ）ボタン以外のボタンを押します

デモ表示を再び表示させるには

1 電源をオフにします
2 本体のトーン（デモ）ボタンを約３秒間押しつづけます
デモモードを表示します。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　0070-800-8181-22
- カタログのご請求窓口　0070-800-8181-33

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TNOZF/00A00000>
<ARA7153-A>